やうと思つて居た所でした。

迎ひを上げやうと, send for you.

147. 過日文部大臣は學生社會の悲むべき敗德に關し重要なる訓令を發したり。

悲むべき敗德, deplorable moral degeneration.
訓令を發す, issue an instruction.

148. F君の如き有望の青年職務に斃る、惜みても尙余りありと云ふべし。

有望の青年, young man of fine promise. 職務に斃る, die at his post. 尙余りあり, it is more than a pity.

149. 某令孃は每日自轉車で本を讀みながら通學するので頗る目立つ。

自轉車で本を讀みながら, reading on a bicycle.
頗る目立つ, cuts quite a figure.

150. 英國駐剳日本大使小村男爵は賜暇を得て來月下旬歸朝せらるゝ由なり。

賜暇を得て, on leave of absence.

151. 我々日本臣民は社會の安寧秩序を妨げざる限りに於て言論の自由を有す。

妨げざる, not prejudicial (to). 安寧秩序, peace and order.

152. 昨夜降續けたから普請中の道路は丸で汁粉の樣で往來が出來ぬ位だ。

往來を妨げる, interrupt traffic. 汁粉の樣, muddy

like the marsh.

153. 日比谷公園附近に建築中の大旅館は遲くも來年二月迄には完成の由なり。

遲くも, at the latest. 完成す, complete.

154. 御令閨樣御男兒御分娩御兩人共御壯健の由大慶至極に奉存候。

御壯健, are doing quite well. 御分娩, give birth(to).

155. 通行稅は英語で何と云ひますかと問はれて殘念ながら即答が出來なかつた。

殘念ながら, to my great regret. 即答, immediate answer.

156. 御急ぎなさいますか、まだやつと二時で御ざいます、もつと御緩りなさいまし。

もつと御緩りなさいまし, do stay a little longer.

157. 不規則な生徒はいつも一團となつて步いて居る、類を以て集まるとはこゝだ。

こゝだ, here is a good instance of the proverb.

158. Bは投機事業に斗り關係して居るから眞面目の仕事が出來なくなるのだ。

159. 私は是非弟を一人前の人間にしなければ死だ兩親へ對し申し譯がありません。

申し譯なし, I shall have no word to apologize myself (to)

160. 吾が友は何氣なく裝ひ居たけれども心配の樣子が微かに其顏色に顯はれた。

何氣なく裝ふ, assume an indifferent look. 心配の樣子が微かに, a shade of anxiety.

161. 其夜大地震ありとの噂それからそれへと傳はつて人々安き心もなかつた。

安き心もない, is in great anxiety (or fear).

162. 頃は恰も早春にして花氣乾坤に滿ち風いと靜にて竹の葉も戰がぬほどなりき。

頃は恰も……にして, it was …… when. 乾坤, the air. 戰ぐ, quiver.

163. あの人はどんな入組だ事件でも必ず手掛りを看出す丸で Sherlock Holmes の樣だ。

どんな……ても, however.

164. 何事にも精神を籠めて從事すべし、失敗は皆熱心の足らざるに因ると知れ(記憶せよ)。

足らざるに因る, is due to want (of). 精神を籠めて, with a will.

165. あんな大地震にはこれ迄逢たことがなかつたから家中皆周章てゝ外へ飛出しました。

家中皆, all the inmates of the house. 周章, panic (*noun*).

166. 撰手競走には僕は全力を盡して走つたがどうとう Y に月桂冠を占められた。

撰手, champion. 全力を盡して, with might and main. 占める, win.

167. 箱根に滯在中は數日間の雨天續きにて是非なく小說

など讀みて旅の徒然を慰め居たり。

徒然を慰むる, kill time.

168. 彼は健氣にも夫たるの私情を捨て判事の格を以て最愛の妻を法庭に呼出せり。

健氣にも, it is praiseworthy of him (to).

169. 私は夏休みを大抵田舍で暮しますが今年は是非北海道へ行かうかと思つて居ます。

170. 昔の青年は中々元氣であつたが今の青年はそうでない、概して血色が惡く不活潑だ。

そうでない, it is not the case (with). 血色惡く不活潑, pale and downcast.

171. 東京市街鐵道會社本年度前半季の純益は東京電氣鐵道會社に比して遙かに勝れり。

市街鐵道, Street Railway. 前半季, the former half.

172. 大事に至らない前に採消さうといふので大に力めたが其の甲斐がなかつた。

大事に至らない前に, in the bud.

173. 旦那樣大川樣とか云ふ御方が御出遊ばして御目に掛りたいと仰せられますが御通し申しませうか。

は……したいと仰せられます, wants to…….

御通し申す, show……in.

174. 太閤の幼時或る僧之を占ふて(豫言して)將來必ず天下に名を揚ぐべしと云ひしとなり。

175. 此時第百廿三番大山高君衝立上り大聲呼て曰く、「諸

長々々本員は緊急動議があります」と。

議長, Mr. Speaker; President. 緊急動議, urgent motion.

176. 昨夜神田の某古本屋で珍本を極めて廉く〔二足三文で〕買ひました、實に掘出し物でした。

珍本, rare books. 掘出し物, a find; a windfall. 極めて廉價, song.

177. かの兩會社間に大葛藤生じたりしが I 伯の仲裁に依り遂に圓滿に局を結ぶに至りたり。

葛藤, difficulty. 仲裁により, through the arbitration. 圓滿の局, happy termination. 結ぶ, bring.

178. 正成の子正行は親に劣らぬ忠臣にて帝の爲にあらん程の力を効し遂に四條畷にて戰死しけり。

あらん程の力を効し, tried all in his power.......

......に劣らぬ, not inferior to.

179. 五年生全體は去る土曜日小金井へ遠足を試みしが非常に疲勞せし故歸途は滊車の便を借りたり。

を試む, go on.

180. 明日は先約有之總會へ出席仕り兼候間重要の件有之候はゞ電話にて御通知被下度候。

先約, previous engagement. 總會, general meeting. 重要の件, anything important.

181. B は國から來る金を皆飲食の爲に浪費するさうだ、して見ると仲間外れにされるのも心がらだ。

の爲めに, on. して見ると, in that case. 心がら, product of his own doing.

182. 本月三日の早天我艦隊は旅順港の閉塞を擧行するに先立ち天皇陛下の萬歲を三唱したり。

萬歲を三唱せり, gave three cheers (to).

183. 其地方は雪が度々降るが私共の旅行した時もそうであつて一週間斗り宿屋に閉込められた。

そうであつて, such being the case. 計り, or so.

184. 今日の日本は十年前の日本に非ず我々青年たるものは國家の爲め奮勵努力せざるべからず。

奮勵努力する, do our utmost.

185. 十五歲計りの小僧入用但し試用の上採用す、志望者は世話好新報社內へ申込べし。

小僧入用, wanted, boy. 試用の上採用す, take in on trial. 志望者は申込め, apply (to). 內, care of.

186. 有望なる青年中に富豪の娘と結婚して豊かに生活せんと願ふもの多きは眞に歎ずべきことなり。

歎ずべきこと, lamentable matter. 豊かに生活する, live in clover.

187. 是より先予は異鄉に在ること五年、再び故國の土を踏みしときの愉快は譬ふるに物なかりき。

是より先, *past perfect tense* を用ひよ. 異鄉, foreign land. 故國, native land. 譬ふるに物なかりき, words could not express.

188. B 博士は其實極めて親切なる人なれとも表面のみを

知れる人々の間に守錢奴の名を博するに至れり。

其實, at botom (or at heart). 名を博す, get the character (of). 表面のみを見て, by appearance.

189. 去る十一日重立ちたる鹿兒島市民は英國支那艦隊のMoore中將及士官等に對し盛んなる歡迎會を開きたり。

盛んなる歡迎會を開きたり, gave a splendid (welcome) reception. 英國支那艦隊, the British Chinese Squadron.

190. 皇后陛下には去る十二日在上野帝室博物館構內に於て開會したる日本赤十字社戰後總會に行啓遊ばされたり。

構內, premises. 行啓遊ばされたり, honoured ... ...with her presence.

191. 私は高等商業學校卒業生山田豊と申す者でございます、御主人御在宅ならば御目に掛りたう御坐います。

IV. Adjectives.

1. 二つの內佳い方をお取りなさい。
何方でも佳いと思ふ方をお取りになつて宜しい。

2. 若しありましたら一人二人雇入れたい。

雇入る, engage; take......into one's employ.

3. 行て履が何時出來るか聞いて來い。

4. 傘を持ておいて左もないと濡れるよ。

5. 岡田は嘘を吐く樣な人ではない。

6. あれを一々檢査したので五時間かゝつた。

7. それは疑がない皆ながさう云ふ。

8. 至急御親父樣に拜面の儀切望致居候。

9. 少しは腐敗して居ても關はない。

10. どれか一つ取て跡を廻してお呉れ。

まはす, pass.

11. 途に迷ふと不可い故互ひに呼びつゝ進んで行た。

12. 近日復た伺ふと有仰いました。

13. 默てお出て、お前の仕事ではない。

14. あれは眞ぢめな人で洒落をいふと怒る位だ。

眞ぢめな, matter-of-fact. 洒落をいふ, crack a joke.

15. 第五卷は第一第二を合せたより遙かに厚い。

16. 其の內死だのも洋行したものもあるが多くは鄉里に居る。

17. 明治二年に初めて此新聞が起た。

初めて, not till (or until). 起す, start.

18. 誰も隣室に居るものはないのに今の物音は何だ。

何だ, what does ...... mean?

19. 伊太利語は學ぶに易い、然し之に通ずるとなると獨逸と同様に六箇しい。

通ずる, master (*varb*); mastery (*noun*).

20. 何も異變はないか確かめに權助を門まで見にやれ。

確かめる, make sure.

21. 去年の今頃は日本海々戰の最中であつた。

最中, at its height.

22. 君もう一つ字書があるなら暫時貸して呉れ。

23. 敵艦九隻は捕獲せられ殘り一隻は自から沈沒せり。

24. 學問は多年したに相違ないが以前より賢くならない

相違ない, did (*auxiliary vcab*).

25. 私は村民達に郡長に訴ふべき程の苦情があるとは信じません。

郡長, county-superintendent. に苦情を訴へる, lay grievances before.

26. 唯一ではない迄も失敗の重もなる原因と思はれる。

ではない迄も, if not.

27. 手紙をやつて何か相談があるか問合せて御覽。

相談す, consult me about. 問合, ask.

28. チト此の赤葡萄酒を召上りませんか、内國製ですけれども可なり良い様に思ひます。

内國製, home brewing. 可なり良い, pretty nice.

37. 無事息災で歸て來たは何より祝着(悦ぶべき)だ。

38. 抽出しの中に紙と墨が殘て居るが要るなら使給へ。

殘て, left.

39. 私はまだあれ迄學問に熱心な女學生を見たことがありません。

熱心な, assiduous.

40. 何か伜の身上に{事が起た / 異變がある}ならば電報でもかける筈だ。

でも, or such like. かける筈だ, we have reason to believe that .... would send me.

41. その容貌が一種の氣象を表はして居て一年や二年には忘れられない。

一種の氣象を表はして, expressive (*adjective*).

42. あの法螺吹のいふ事は何處までが本當なのだか分りはしない。

法螺吹, braggart. 何處までが, how far.

43. 善かれ惡しかれ一旦出した命令は決して引込めない。

引込める, withdraw; retract. 善かれ, right.

44. 尺蠖の將さに伸びんとするや先づ其身を縮む。

尺蠖, span-worm. 縮む, shorten.

45. 上半期の初二箇月は餘り利益がない。

利益, profit. 半期, half.

46. 男爵が毅然として居て呉れる間は心配に及ばぬ (すべき譯がない)。

居て呉れる, remain.

29. 私の新聞で讀みましたのと探偵から承た事は是れ切りです。

30. 私共(の店)では小僧が二三人足りません故其の子をためしに入れて見ませう。

試めしに, for trial. 入れる, take in.

31. 巡洋艦二隻一は威海衛より一は旅順より同時に佐世保に着したり。

威海衛, Wei-hai-wei.

32. 大は小を兼ねるといふ諺があるが君の大帽は僕の小頭には所詮合はない。

を兼ねる, answers the same purpose (as). 所詮, after all.

33. どうか先方の(彼の)意向を探て場合によつたら手打をして下さい。

(人の)意向を探る, sound. 手打をする, strike the bargain.

34. 一年の收入が丁度千圓(丁度千圓の收入)だが今日では十人の一家を支へるには無論足りない。

支ふ, support.

35. その箱は縦が二尺、横八寸、深さ五寸だから此様に澤山の本は這入らない。

這入る(容れる), hold.

36. 私はあの人の事が心配になつて安否問合の電報をかけました。

安否問合の, asking whether he is safe.

47. 年は若いが彼奴は男中の男だ。

48. あの人は學者としては餘りに勘定高すぎる樣だ。

49. 伊藤は今朝新聞も讀まずに三時間許物悲しげに投首で坐て居たが何處かへ出懸けて行たか知ら。

投首て, crestfallen.

50. 自分が人生の荒海に船卸しをされたのは元氣と希望の滿々たる廿三歲の青年であつた。

人生の荒海, the stormy sea of life. 船卸しをする, launch (*transitive verb*).

51. {近東で戰爭が目前に迫て居る抔とはホンの噂丈だ。
私は一大危險が目前に迫て居ることは心づいて居た

目前に迫る, imminent; impending. 噂, *on dit que.*

52. 男と生れ候上は此の危急の秋に際して手を袖にして在るべきにあらず。

危急, emergency; exigency. 在る, stand.

53. 高く登て行くに連れて眺めが段々に(一層廣い眺めが) 開けて來た。

連れて, as. 眺め, view. 開けて來る, present itself; open before our eyes.

54. 親王が何處で御薨去になつたかよく分らない。

分る, is known.

55. 馬鹿か氣狂でなければ丸切り役に立たない人間はない。

絕對に, 丸切り, absolutely.

56. 老人は過去を顧みて現在と將來に眼を向けない。

顧る, look back. 向ける, turn.

57. 渠の成功の望は萬々ないかに見えた。

萬々, *superlative degree* の *adjective* に譯すべし.

58. 美とは何ぞやといふ事について彼等の見解が區々だ。

について, as to. 區々だ, vary.

59. 江南三月最も風多し。

風多き, windy (*adjective*).

60. あの樣に有望な實業家が彼樣に若くて死だとは殘念千萬な事だ。

實業家, business-man. 殘念千萬な事, what a pity.

61. 何時見ても何か彼にか讀んで居るのでこゝ數月來あれの進步に興味を以て注意して居ます。

進步, progress. 興味を以て注意して, interested.

62. この五つの中の何れと比較してもあれは一顧の値もない事が判る。

一顧, a notice; a moment's notice.

63. 勿論大した事はないのだらうが手後れにならない內に健康に注意し給ふ方が宜しい。

大した, serious. 今のうちに, now before it is too late.

64. 目下は手一杯ですから早くも來月の初めでなくては着手する譯には參りません。

一杯, full.

65. 支那は近年多數の青年を我國に送り來る。

66. 石油相場は昨今どんなですか、品拂底で高くなつたでせう。

相場, price; quotation. 品拂底, scarcity. 高くなる, appreciated; rise (in price).

67. 兎角の評はあるが兎に角一癖ある人物だ、蹉跌する度每に一層勇氣を增して來る所を見給へ。

一癖ある, with some extraordinary stuff in him.

68. 三晩つゞけて不吉の夢を見た。

不吉, ill-omened; ominous.

69. 先夜君と散步中に逢た老人を今朝尋ねたら死で居たには實に驚き入たよ。

70. 金貨で百兩に一文缺けても受取らないと云た。

金貨で, in gold. 一文缺けても, nothing.

71. 逆境に陷た(逆運を持た)ことのないより不幸なものはない。

逆運, adversity.

72. 見た所では些細な事柄が歷史上に大變な關係を及ぼすことがある。

見た所は, apparently; seemingly. 關係を及ぼす, stand for.

73. あれ程の多才な人が大事が出來ない筈がない。

多才の, of parts. 大事, great things.

74. 小生儀去る土曜日午後無恙歸朝仕り候此段御報知申上候。

恙無歸朝, return home safe and sound.

75. 急げば廻ると云ふから綏りと決心して然かも敏活に

實行したまへ。

急げば廻る, more haste less speed.

76. 鈴木は數學にかけたら誰にもひけは取らないが、語學の才に乏しい。

引けは取らぬ, is second to none. 語學の, for language.

77. 物價が下落しなければ大抵の勞働者は暮しを立て兼ねるだらう。

下落する, get low. 大抵の, most. 暮しを立てる, keep the pot boiling.

78. 私は宵っ張りの癖がありますからどうか御構ひなく御休み下さいまし。

宵っ張りの癖, habit of sitting up late at night.
御構ひなく, without standing on ceremony.

69. 吾々學生は學校の規則を遵守する外なし。

なし, there is nothing else (for us to do) but.

80. 兵糧缺乏を告げ城兵は遂に降伏したり。

缺乏を告ぐ, come short (or run short).

81. 其當時日本の開國を唱ふるものは直に捕縛の上斬罪に處せられたり。

日本の開國, Japan should be thrown open.
唱ふる, propose. 斬罪に處す, put to death; condemned to death.

82. 昨夜何者か第千銀行の金庫を破り金拾萬圓を盜み去りたり。

金庫を破る, break open one of the safes.

83. 大海伯爵は喰物が中々八釜敷い、料理番は定めし骨が折れるだらう。

中々八釜敷い, very particalar (in). 骨を折る, take great pains.

84. あの會を脱したのは新會長が氣に喰はぬからだ、別にこれぞと云ふ譯もないのだ。

あの會を脱す, leave the party. これぞと云ふ譯, particular reason.

85. あの山は弘法大師の時から女人禁制であつたが此度其禁を解かれた。

女人禁制, women were forbidden to visit. 此度, lately. 禁, prohibition.

86. あんなに骨折るからには十中八九迄は成功するだらう。

十中八九, ten to one.

87. 本日中に御勘定全額(但し二百五十圓也)御支拂下され候はゞ難有奉存候。

御勘定全額, one's account in full.

88. 止むを得ざる用事有之御招待に應じ難く遺憾此事に御座候。

止むを得ざる, unavoidable. 應じ難く, has prevented from accepting.

89. A 君と B 君とは小學校時代から一緒に居るのになぜあんなに仲が惡いだらう。

仲が悪い, lead a cat-and-dog life (of it).

90. 後にて聞けば其男兒は外ならず皇孫殿下其人にておはせしとなり。

後にてきけば, I afterward learned (that).

91. 明暦年間江戸に大火あり數萬軒燒失したりと云ふ。

年, the era of.

92. 博士は御留守でしたが吉田とか云ふ助手が叮嚀に診察して呉れました。

助手, assistant.

93. 僕の所で兒が產れると分時も違はず隣家で老人が死んだ實に人事は樣々なものだ。

分時も違はず, very moment. 人事, human affairs. 樣々, mutable.

94. いつか一度は必ず故郷へ歸れる時が來るに違ひないからそんなに落膽し給ふな。

違ひない, most assuredly. 落膽する, become discouraged; lose heart.

95. こんなことは云つて居るものゝ僕が明日にも出征する事にならんとも限らない。

こんな事は, in this way. 出征す, leave for the front.

96. 如何なる手段を取るも此競爭場裡に立て頭角を顯はすは容易の業にあらず。

此競爭場裡, this world of competition.

97. 東郷大將凱旋入京の日は快晴なりし故東郷日和の名

稱之より始まる。

凱旋入京する, make a triumphal entry to Tōkyō.

之より始まる, that is the origin.

98. 追ふものも追はるゝものも共に勞れ果て思はず地上に倒れたり。

共に, alike. 思はず, in spite of themselves.

99. 此頃御令息に滅多に御目に掛りませんがどうかなさいましたか。

めつたに御目にかゝりません, I have seen little (of).

100. 上杉謙信は二尺八寸の大刀を四角八面に打ち振り一振毎に一二人の敵を斃したり。

四角八面に, right and left. 一振毎に…… 斃せり, every blow bringing down ——

101. 私共が寄合て善後策を講じて居る内に意外なことが起りました。

善後策, a plan for better relations in future. 講ずる, consult about; take over. 意外な事, an accident quite unexpected.

102. 君の云た言は僅か二言三言だつたけれどもどう云ふものか太田を激昂させた。

云ふ, utter. 僅か二言三言だつたけれども, few as they were. どう云ふものか, somehow or other. 激昂さす, provoke.

103. 外務書記官中敏腕を以て有名なる M 氏は特命全權

公使に拔擢せられたり。

敏腕, great ability. 特命全權公使, Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary. 拔擢す, promote to be.

104. 横濱行の滊車はこちら側では停りません、橋を渡つて向側に御出でなさい。

行, for. 渡つて, over.

105. 一等戰鬪艦樺太及び臺灣は舞鶴に向ひ、前者は午前に後者は午後に當港を出發せり。

一等, first-class.

106. 十圓位の月謝で隔日二時間宛特別教授をして與れる英國貴婦人を御存知ありませぬか。

十圓位, ten yen or so. 特別教授をする, give special lesson.

107. B.博士は有らゆる數學書を讀んだそうだから斯學に精通して居る事は云ふ迄もなしだ。

有らゆる, any and every. 云ふ迄もなしだ, it goes without saying.

108. 青葉作の小說「露時雨」は頗る好評にて直ちに初版一千部を賣り盡し第二版一千部を印刷中なり。

好評, popular. 賣り盡す, sell out. 印刷中, in the press; printing.

109. Kは僕等の級の優等生だが今度の試驗で失敗した、恐らく此れが仕初めて且つ仕納めだろう。

110. 老若貴賤貧富の別なく人として此の世に生れたる以上は死の義務を果さざるべからず。

此の世に生れたる以上は, once born. 死の義務, duty to die.

111. 山口は極めて質素な身成りをして居るけれども何となく學生らしく無い貴族らしい所がある。

質素な身なりをして, plainly dressed. 何となく, something about him.

112. 僕は本箱然たる似而非學者に成うとて勉强はせぬ國家有用の人物になる積りだ。

本箱然たる似而非, book-case-like, would be.

113. 近藤は免職になりはせぬかと心配して居つたがつまり取越し苦勞に過ぎなかつた。

免職になりはせぬかと, about the probability of being dismissed from office. 取越し苦勞, more scared than hurt.

114. 新橋から川崎まで徒歩競走をやつたが歸りにはもう步けなくなつたから滊車に乘つた。

もう, any longer.

115. グラント將軍の來朝は明治十二年だから御維新後に生れた者は歡迎の光景を覺えて居る筈がない。

筈がない, cannot recollect.

116. 私は小山を十分調べて見ましたが詰りあの事件に就て彼は吾々同樣毫も關係して居ない樣です。

あの事件に(就て)關係する, has any connection (with). 吾々同樣, any more than. 居ない樣です,

I cannot see.

117. 本田は田舍に居た時代から大分辯護士然として居たが果せるかな法科大學に這入つた。

果せるかな, as might have been expected.

118. 此頃は滿洲へ三四週間以内の飛脚旅行を試みて滿洲通を以て自ら任ずる者が澤山ある。

飛脚旅行を試む, make a flying trip. 滿洲通, experts of things Manchurian.

119. 皇族の御身を以て兵卒と寢食を共にし給ひしは吾々の恐懼措く能はざる所なり。

皇族の御身, such an august self as a Prince Imperial. 恐懼措く能はず, cannot but be deeply impressed.

120. 過日誂へ置候品來る廿日迄に御届相成度候、尤も其以前なれば尙更好都合に候。

誂へる, order from. 尙更, so much.

121. あの年寄夫婦は見る影もなく暮して居るが昔は立派な身分であつたと云ふから實に氣の毒だ。

見る影もなく, in a very miscrable condition. 立派な身分であつた, have seen better days. 實に氣の毒だ, what a pity.

122. 其夜某提督は自分の艦隊が散々な目に逢ふのも知らずに或る宴會で娯樂を盡して居たと云ふ噂です。

散々な目に逢ふのも知らずに, not knowing the fatal calamity. 宴會, party.

123. 此通を眞直に行て橋の手前を左へ御曲りなさい右側に旅館の大看板のある家が見えます其れが其れです。

眞直に行く, follow straight (along) 右側に, on the right hand. 大看板, big sign-board.

124. あの人は陽氣な質ですから大抵の事では心配相な貌は見せません。

陽氣な質, (of) a merry dispositon. 大抵な事で, unless something serious happens.

125. 先日は御多忙中御訪問下され候處生憎不在にて失禮仕り候。

生憎不在, happen to be out. 失禮仕候, I am very sorry; I regret.

126. 國の内外を問はず 口碑に傳はるものの中には 奇中の奇とも云ふべき事がある。

國の内外を問はず, both at home and abroad. 口碑に傳はるもの, traditions. とも云ふべき, might be called.

127. 昨日歌舞伎座へ行きましたが役者が揃つて居りますので見物が這入り切れぬ程大入でした。

役者が揃つて居ります, most of the best actors are taking part in the performance. 見物が這入り切れぬ程大入, overfilled.

128. 此空氣枕は如何で御座います旅行用には至極御便利な品で、ヘイ七十五錢迄に致して置きませう。

如何で御座います, how would —— suit you?

how would you like? へイ, well, sir. 致して置く, let you have.

129. 東京工業學校長手島精一氏は二十年間工業教育の發達に盡したる故を以て賞として銀盃一個御下賜相成たり。

盡したる故を以て, in recognition of his service (in). 賞として御下賜相成りたり, was awarded by the Emperor.

130. 其頃には汽車も汽船もなかりければ海陸共に旅行の如何に困難なりしかは到底今日より想像し能はざる所也。

如何に困難なりしかは how hard it was. 今日より, at present.

131. 例の山師は僕に逢ふ度毎にどこそこの席上で伯爵何の某殿と意見を戰はした(など)法螺を吹きます。

度毎に, every time. 席上で, occasion. 意見を戰はす, argue with. 法螺を吹く, blows his own trumpet.

132. 昨日學校の歸りに電車でなけなしの金を皆掏られて仕舞た今は只國から爲替の來るのを待つばかりだ。

なけなしの金, what little money. 國から爲替, monthly remittance from home.

133. 昔は江戸(今の東京)から大阪迄十日で行くのは殆んと不可能であつたが今では汽車で僅か十二時間しかかゝらぬ。

殆んど; almost, next to. しかかゝらぬ, it is only.

134. 第三番の辨士大和氏の演説最中臨場の巡査は中止を

命じた、そこで聽衆は不平たらたら三々五々會場を立ち去つた。

臨場の巡査, policemen present. 中止を命した, ordered the proceeding to be stopped. 不平だらだら, complaining bitterly. 三々五々, by twos and threes.

135. 隣室に泊つて居たのは漸く二十を二つも出た位の青年であつたが長病の揚句と見へて糸の樣に瘦せ衰て居た。

泊つて居る, is lodged. 揚句と見へる, probably as the result; perhaps owing to. 糸の樣に, to skin and bone.

136. あなたはまだ一度も御上京なすつた事はありませぬか、〔其内〕いつか一週間ばかり御休みになつて都見物をなすつても無益ではありますまい。

無益ではない, worth your while.

137. 今迄は惡澤はぢつと床を見詰めて居たがやがて深い溜息をほツと吐いて悲しげにすごすご校長室を出て行た。

ぢつと床を見詰めて居る, eyes bent intently upon the floor. ほつと吐く, drawing.

138. 去月廿九日の拂曉代議士A氏方へ一人の强盜押し入り氏の令孃及び令息を殺害して逃去りし儘未だ捕縛の運びに至らざる由なり。

代議士, Member of the House of Representatives. 押入る, break into. 捕縛の運びに至らざる, *preposition+adjective* を用ふべし.

V. Verbs.

1. 其數三千五百に上る。
之に斃れたるもの千を以て數ふ。
其損害五萬圓に及ぶ。
長さ一丈幅五尺なり。

斃れたもの, the victims. 及ぶ, is estimated.

2. 鷄口たらんより牛後となれ。

3. 今は此の二者の間に何等の關係なし。

4. 壁にもたれて立て居た。
其問答の濟むまで立て居た。
歸て來たらまだ門の前に立て居た。

問答, the dialogue.

5. 人間吏となるも也た風流。

風流, poetical.

6. 位記返上後彼れは淋しく世を送れり。

位記返上, resign one's court rank. 淋しき, retired; secluded.

7. 王政復古は彼が畢生の目的とせし所なり。

畢生, avowed.

8. 此れは延引の申譯に使ふ紋切型だ。

申譯, apology. 紋切型, a stereotyped form.

9. 十日間間斷ない勞力が何にもならなかつた。

10. 齋藤君は今夜來ない聞けば田舎へ行くさうだ。

11. 大山君のを何うした、それから君自分のは何うした。

12. 萬一何か間違があつたら直ぐ電報を寄越せ。

間違, any thing amiss.

13. 明日大工を呼びにやつて修繕させます。

14. 去月三十日附の御手紙正に落手致候。

15. 今まで何處で何をして居た。

今迄, all this while.

16. 君が何によつて結論を下したか判らない。

を下す (に到着す), arrive at.

17. あの世話燒がだまつて居るのが不思議だ。

世話燒, busybody.

18. 僕と伊藤とに幾分か 落度がある。

幾分か, partly. 落度, to blame.

19. 私が其室に這入た時には既に目を覺して居た。
一晩目を覺して居たのと見えた。

一晩, all through the night.

20. 此れは兎に角行て受取て來ませうか。

21. 永の年月住慣れた都を去る時のつらさ。

22. 昨今は懷が淋しくて吞れない。

懷が淋しい, at low water.

23. 今日は中々寒い寒暖計は今幾度ですか。

寒暖計です, the mercury stands.

24. 京城に御着次第御一報願上候。

25. ハヽア梅を見に木下川へ行て來たのだね。
昨日博覽會を見に上野へ行て來ました。

26. 幸運は訪るゝ事屢々なるも惰者は戸を開かざるなり。

訪る, knocks at the door.

27. B 教授は只今授業中です故此處で暫時御待下さい。

授業中, in class.

28. あの人は日本風に暮して居ながらいつも洋服を着て居ます。

29. 朝早くか夜遲く御出になつたら多分在宅でせう。

30. 今役所から歸つて着物を着替たばかりです。

31. 今年の樣に雨の多い年はない。

32. 警官が駈付けしは賊が逃去りし後なりき。

駈付ける, run up.

33. 匿名の手紙を三度も寄越すとは一體誰だろう。

34. 續いた部屋が二つ三つ貸して貰へませんか。

續いた部屋が二つ三つ, a suite of rooms.

35. いくら勉强しても僕は木村に勝つ事は出來まい。

勝つ, get the better of.

36. 現役及休停職中の陸海軍人は互選權を有せず。

現役, active service. 休停職中, who have temporarily retired or been suspended from service.

互選權, the right of mutual election.

37. 其本を貸して上ても宜しいけれども落丁がありますよ。

落丁, missing page.

38. 世の中にこれ程うるさい事はない。

うるさい, annoying.

39. 擴がらない内に何とかしなければならぬ。

何とかする, something......be done.

40. 君の十分の成功を祈る。
何れか成功して吳れればよいと思て居ます。

41. 寢床へ這入つたと思ふと最う寢てしまつた。

寢て了ふ, 寢入る, go to sleep.

42. あの人が承諾してもしなくても此方針を取らう。

方針, course.

43. 此の夏は是非箱根で暮す積りです。

暮す, spend.

44. こんな愉快に(なる)一晩を暮したことは十年來ない。

愉快な, agreeable.

45. 此れは獨逸の少年文學中の上乘なるものだ。
あれは古來英國から出た中で一番の大科學者だ。

少年, juvenile. 上乘, the best specimen.

46. これが日本語を讀む樣に讀めたら嘸面白かろう。

47. 近頃名法官として大評判になつた島村樣の事ですか。
お茶の水の人殺(一件)が都下で大評判だ。

事ですか, do you mean? 人殺, murder.

48. 私は生れて以來あの位感歎した事はない。

生れて以來, in my life. 感歎せしめる, strike.

49. 僕は日常生活の平凡なのに厭き果てた。

日常生活の平凡, the every-day routine.

50. 近來音信不通だが屹度落魄して居るに違ひない。
(誰々から) 音信がある, hear from. 落魄して, out (or down) at heels.

51. 忠告も罵詈も寸効がなかつた最う深入して居たのだ故。
深入, too far gone.

52. 榮枯盛衰は世の常だから無益な愚痴をこぼし給ふな。
榮枯盛衰, ups and downs. 愚痴をこぼす, cry over spilt milk.

53. 失敬ですがどなた樣で御座います。

54. 君が說附れば承諾するかも知れない。
說附ける, advise.

55. 此文章は君が書いた筈はない誰に書いて貰つたか。

56.
覺悟して居るに違ひない。
覺悟して居る筈がない。
覺悟して居らぬ筈がない。
覺悟して居なければならない。
覺悟して居るには及ばない。
覺悟して居る, be ready; be prepared in one's mind.

57. 紙一枚でも借りた以上は返すべき筈であつたのに。
借りた以上は, when loaned.

58. 昨夜は蚤がひどくて一睡も出來ない位でした。
一睡, a wink of sleep.

59. 御尊父樣は御達者で御座いますか、イヱ沒しました。

御達者, well.

60. K大使は神經衰弱の故を以て賜暇歸省中なり。
神經衰弱, nervous prostration.

61. 其日は朝來大風なりしが日沒後は益烈しくなりぬ。
益々烈しくなる, blow harder and harder.

62. 開店して間がないにそう澤山顧客のある筈がない。
開店して間がない, was opened only a short time ago.

63. 急ぎますから是非すぐに御暇を致さねばなりません。
暇を告げる, ask your leave.

64. 過日御話有之候沙翁全集惠貸奉願候。
惠貸, favour me with a loan (of).

65. 小包屆き次第速に御報知被下度候。
小包屆く, you receive the parcel.

66. 職業に忠實なれ然らざれば生計に苦むべし。
生計を立つ, keep the pot boiling.

67. 噂をすれば影がさすとやら X 君が向から遣つて來た。
噂をすれば影がさすとやら, as the proverb says "Talk of the devil and he will appear."

68. 私は未だ斯樣な六けしい病人を手にかけたことがない。
手にかける, treat.

69. 大層お早いに起きました、何か持上りましたか(何が

進行中ですか)。

持上る, is up にてもよし.

70. 「誰だ」と叫んで番兵は私の前へ銃を突出した。

の前へ銃を突出す, show arms.

71. お國へ行ていらつしたさうだが何か彼方に異た事はありませんか。

お國へ, home. 何か異た事, any news.

72. 父は不斷度々佳い珈琲を飲みたがります。

たがる, will.

73. どうも劇しい降りです此の天氣では行き樣がない。

どうも劇しく, how. では, in.

74. 昔は兎も角も今時そんな事は決してない。

兎も角も, however it may bave heen.

75. 御照會の件は一兩日中に參堂詳細愚見可申述候。

照會する, enquire of. 詳細愚見を述ぶる, give my opinion in detail.

76. 是迄隨分廣告も讀んだがこんな面白い意匠は始めて見た。

是迄, up to this time. 隨分, enough (of).

意匠, design.

77. 滊船臺灣丸は本日當港に立ち寄り多量の石炭を積み込みたり。

滊船, s.s. 積込む, ship.

78. 今夜は散歩は出來ない寢る迄にもう十頁復習するのだから。

復習す, peruse.

79. 財なかりせば彼の白髮は殖へまじきに實に富は苦の種なり。

苦の種, the cause of trouble.

80. 今にも合格の通知が來るかも知れないから落膽すべからずだ。

今にも, at any moment. 合格, your success; you have successfully passed.

81. もう歸りさうなものだが何をして居るのだろう厄介な奴だ。

さうなものだ, ought を用ひて譯すべし、厄介な奴だ, that black sheep.

82. 今朝机の抽出しへ入て置いた錢入がないどうしたのだろう。

どうしたのだろう, *potential present past* を用ひて譯すべし.

83. もつとよく佛文が書け佛語が話せれば外交官になるのだけれども。

84. 日に十二時間もコキ使はれる位なら奴隷になるも同じ事だ。

コキ使はれる, put under hard work.

85. 不同意どころではありません熱心な贊成者の一人です。

不同意, differ with you. 熱心な贊成者, warm supporters.

86. 如何なる危險の場合にも中尉は常に其の中隊の陣頭に立てり。

陣頭, the head of (his company).

87. 僕はそうしたかつかのだが父が許して吳れなかつた。

88. 戰爭がもう少し續いたら大將軍の兵を全滅することが出來たらうのに。

89. いくら働いても當時の不景氣には追着かれませんでした。

追着く, get ahead of.

90. あれを得る望みは少しもないと自分は考へた。

を得る, with. 少しも, a shadow; a ghost.

91. 其後は餘り逢ひませんが段々快復して來たのでせう。

段々快復す, get better.

92. 何事が起ても必ず往てお仲間に這入ると申して居ました。

何事が起ても, nothing (*subject* に用ひよ).

93. 早速何か手當をしてやらなければ腦髓が參て了ふだらう(かと氣遣ふ)。

何か, something. 手當をする, do for his relief.

參て了ふ, go.

94. 君は僕を多年知て居る、君程よく僕を識て居る人はない。

95. あの人は子息の詐欺事件に何等の關係がないに違ひ

ないと(私は)思た。

に違ひないと思ふ, feel certain.

96. 自分は燈前に坐て其晚の事をボンヤリとして考へて居た。

ボンヤリとして, in an idle manner.

97. 私共は[今迄]三日間石川君を捜さうといふので大騷をして居るのだが其の甲斐がない。

大騷をする, move heaven and earth.

98. 酒に生捕られて居る間は救ふに道がない樣に思はれる。

生捕て居る, have in one's power.

99. たゞで貰ても彼樣な書は欲しくないがあの人は幾何で賣ると云て居ますか。

たゞで, for nothing. 欲しい, care for.

100. あの人の缺點は唯だ少く意氣込が足りないと云ふ一事だ。

意氣込が足りない, is heavy in hand.

101. 壘の上へでも落したら壞れることは極て居る。

極て居る, is sure (to).

102. 目付次第一筆知らせて吳れるだろうと獨りで極めて居た。

一筆知らせて吳れる, write me a few lines.

103. 萬一失敗したら其れは屹度あの人の不決斷に基因するのだ。

に基因する, owing to.

104. 二番目を書き終らない内に最う鐘が鳴つた。
　　ない内に，before.
105. 金が出來ると故舊を忘れるものが澤山ある。
　　金が出來る，feather one's nest.
106. 其手紙が所番地が間違つて居た故此の前の日曜まで着かなかつた。
此の小說を書いて了うまでは出發しない。
一刻も早く着手したまへ其れまで出版を見合せる故。
御歸りに御立寄下さい其れ迄に直させて置きます。
　　所番地が間違ふ，wrongly addressed. 着手す，set about. 見合す，postpone. 立寄る，look in.
107. 日本の諺に(が)夫婦喧嘩は犬も喰はぬと云ふではないか。
　　喰はぬ，doesn't care to eat.
108. 君は其事に就て知らぬ顏の半兵衛で居るのが得策だ。
　　顏の半兵衛で居る，pretend. 　得策，advisable; politic.
109. 日本の軍人が凱旋後少しも得意の色を現さない事を考へると嬉しい。
　　得意，sign of elation. 嬉しい，are proud.
110. 分秒の時間も大切であつてグヅグヅ其問題を論じて居る處ではなかつた。
　　分秒の時間，every moment. をグヅグヅする，to

pause (or stop) to.
111. 本年は何れの地方にも未惡疫の流行を見ず是れ全く當局者の盡力と公衆の注意に由るなり。
　　何れの地方も，anywhere; any part of the Empire.
112. あの人は約束にそむいた事がないからそれであんなに信用があるのだ。
　　約束にそむく，breaks his words.
113. 臺灣の基隆は三百年以前既に早く日本商人の貿易港なりき。
　　既に早く，as early as. 基隆，Keelung.
114. 田舍に居たとき英語を學んだのですから會話作文は極めて不得意です。
　　極めて不得意，very poor (at).
115. 去る十一日夜半過直江津に大火あり千軒以上燒失し日出頃鎭火せり。
　　夜半過，after the midnight (of); in the small hours (of). 日出頃鎭火せり，were got in hand at daybreak.
116. 私も一人の悴が御座いました今生きて居ますと丁度あなた位の年です。
　　丁度あなた位，just as old as you; of your age.
117. 昨夜の地震は隨分强かつた机の上のランプが既の事落ちんとした。
　　既の事，almost; seemed likely (to).
118. 哨兵は銃劍を構へて誰だ(誰が其處を行く)と呼りた

り。

構へる, level.

119. 思ひ立つたが吉日と諺に云ひますから直ぐ始める積りです。

思ひ立つたが吉日, procrastination is the thief of time.

120. よく吹きますこと斯様な時に船に乘つて居るものはどんなに難儀でせう。

どんなに難儀でせう, what a hard time......have.

121. 去月二十五日六十五名の支那學生は東京商船學校に入學を許可されたり。

東京商船學校, the Tōkyō Mercantile Marine College. 入學を許可されたり, were admitted.

122. 安政二年十月江戸に大地震あり死者十餘萬人と註せらる。

123. B君を度々訪問しますがいつも留守です何時行つたら在宅でせうか。

何時行つたら在宅でせうか, *subject* に I を用ひて譯すべし。

124. もう十五分で八時ですそんなに悠々として居ても間に合ひますか。

そんなに悠々とする, tarry so long.

125. Cは中學校を卒業してからもう三年も立つに未だ高等學校に這入れない。

126. 私は結婚してから五年立ちますがまだ子供が出來ません。

結婚してから五年立ちます, have been に *complement* を加へて譯すべし.

127. 二三日立てDは約束通りやつて來た彼れは既に下宿屋を引き拂たのであつた。

引き拂ふ, leave.

128. 昨日の新聞で見ましたが日米間の海底電線は大概出來上りましたな。

見ました; read (*past*). 海底電線, submarine cable. 大概, for the most part.

129. 捕虜士官は宣誓の上故國へ歸還する事を許す筈なり。

宣誓の上, on parale not to fight again during the present war.

130. 樺太丸は土曜日の朝宇品を出ますから私は今夕出立します。

131. そう勉强ばかりしては身體の毒だその頁を(讀で)仕舞たら散步しませう。

身體の毒, bad for your health.

132. 御出入の指物師は仕事は上手ですが言葉使が惡う御座います。

御出入の, you generally have. 言葉使が惡い, use bad language.

133. 僕は洋行したいが船が大嫌ひだアー鳥になつて飛んで行きたい。

船が, voyage.

134. 恩人を告訴するとは何事だらう、いはゞ人間の皮を着た惡魔だ。

告訴する, bring suit (against). 言はゞ, *subjunctive mood* の *verb* を用ひて譯すべし.

135. 左樣なら、君の御成功を祈ります此の次はいつ御目にかゝれませうか。

136. あんなに度々家の前を通るのだから年始位來てもよさそうなものだ。

の前を通る, pass. 位, at least; at any rate.

137. B は放蕩の結果詐僞の罪にて捕縛されたりと其餘は云ふに及ばず。

詐僞の罪にて, on a charge of fraud.

138. 日本は戰勝の結果北緯五十度を境界とせる薩哈連島の南部を得たり。

境界とせる, with......as the boundary, 薩哈連島, the Island of Sagalien.

139. 壯健なるにも拘らず他人にのみ依賴する靑年は寧ろ憐むべきである。

憐むべきである, is pitiable.

140. 可哀さうに迷兒は交番の隅に石になつた樣に縮まつて居た。

交番, police-box. 縮まつて居る, sit shrinking.

141. 此間誂へた外套はまだ出來ないだらうか若しヒヨツト出來て居たら持て歸れ。

142. 此間誂へた外套はもう出來たかも知れないから出來て居たら持つて歸れ。

143. 本員は足利君を懲罰委員に附して嚴重に處分せねばならぬと思ふ。

懲罰委員, the Disciplinary Committee. 附する, hand over (to); submit.

144. 快樂安逸をのみ事とし毫も向上心なきものは早晩必ず世に捨てらるゝに至るべし。

事とする, are addicted (to). 向上心なき, have no aspiration; have no higher goal in view.

145. あんなに景氣のよい店はめつたにない、一日で餘程の儲けがあるに相違ない。

景氣のよい, busy. 一日で, in a day. 餘程の儲けがある, a great real of money gained; have a great gain.

146. 端艇へ出るや否や巡査に捕縛せられた。

端艇, launch.

此の文を三つの異なる文體に譯すべし。

147. 今夜は lamp が少し暗い樣だ心を出して與れ給へ。

出す, turn up.

148. 戰利品は本月十日より公衆の縱覽を許す。

戰利品, war spoils. 縱覽を許す, is exhibited.

149. 此本はよく賣れます一ケ月かそこいらで再版になりました。

一ケ月かそこいらで, in the course of a month or

thereabouts. 版, edition.

150. 味方は數名の微傷者を出ししのみなりしが敵は二百餘名を失ひたり。

微傷を蒙る, get slightly wounded.

151. 目下歌舞伎座にて興行中の天一一座は日々大入なり。

天一一座, Ten-ichi's troupe. 大入, entertain a large house; has a full house.

152. 三笠引揚工事は今回は頗る有望の由なり。

引揚工事, the work of refloating.

153. 寡婦は萬事を節制して我が子を一人前にせんとつとめたり。

萬事を節制する, deny herself everything.

154. 兒は泣寢入つたから母はホット息して寢床を放れた。

ホット息する, with a sigh of relief.

155. 本年は不作の爲め東北地方は金融極めて逼迫の由なり。

不作, bad crop. 金融逼迫, money is tight.

156. 西園寺首相は二三日來微恙の故を以て昨日の閣議に欠席せり。

微恙, slight indisposition. 閣議, cabinet conference.

157. S伯は酒興に乘し不斗彼の事件に關する秘密を洩らした。

酒興に乘ずる, while he is in his cups. 洩る,

escape his lips.

158. 所謂慈善事業と稱せらるゝもの多くは虛榮心より出づ。

慈善事業, charitable enterprises. 稱せらる, pass by the name (of).

159. 敵は銃を構へたり大佐の命は危機一髮に迫りたり。

構へる, level. 危機一髮に迫る, hang by (or on) a thread.

160. 余は宿望を遂するまではあらゆる手段を試る決心なり。

宿望, long-cherished desire.

161. 學生は概して大學の角帽を冠る樣になると威張りたがるものだ。

角帽, square-shaped caps. 威張る, put on airs.

162. 多分明日は好天氣らしいから旅行の支度をして置け。

多分 …… らしく, most likely.

163. 急行で行けば東京から神戸迄十五時間しか掛りません。

しか掛りません, takes only.

164. 尋常の手段では此難關を切りぬける事は出來まいと氣が付いた。

難關を切りぬける, get out of the scrape.

氣が付く, become aware.

165. あの人の演說は尊敬どころか輕蔑の念を起させたゞ

らうと思はれる。

念を起させる, excite; command.

166. どのみち取調べが明朝ある(開かる)筈です。

どのみち, in any case; at all events. 取調, an inquest.

167. 形勢が段々惡くなつた行く行くは失敗しそうだ。形勢, the situation.

168. 萬一君の大望が成就したら褒美に何か呉れるか。

成就する, realise.

169. 萬端都合よく進行して行きます、十分の成功疑なしです。

170. どうか惡く思つて下さるな全く好意づくの忠告なのだ故。

好意づくの, wellmeant.

171. 何と言つて來ても(何であつても)一切取合はない事に決心した。

取合はぬ, turn a deaf ear; give no ear.

172. あの人の健康に對して責任を負ふべきものは君一人だ。

責任を負ふべき, answerable (for).

173. 試驗がもう(追々)近寄つて來ましたね。

174. たしかあの人の兄樣は亡くなつて十年已上になる。

已上, upwards (of).

175. これ丈はあの男が僕を見た眼色で讀だ。

眼色, looks.

176. あの論文は少く博識を衒てる氣味がある。

少く……の氣味, a touch. 博識を衒ふ(事), pedanticism.

177. 時に其役を引受けるのは誰だつたか。

役, part.

178. 僕の辭し去るときに最う既に雨が降つて居た。
あの君の女の子は最う何か譯の分らない事をしやべるね。
最う目的地に着いて談判の幕を開けたと思ふ。

譯の判らない, unintelligible. 幕を開ける, open the ball.

179. 私が歸つたときには齋藤君は出て三四時間後であつた。

180. その論文が單行本(一冊の本)となつて出たのは一昨年が始めだ。

になつて, in.

181. 此の學期は九月十一日に始まつて十二月末に終る。
該戰役は牙山の海戰に始まり下の關條約の調印に終りたり。

下の關條約, the Shimonoseki Peace Treaty.

182. それは極めて簡單明瞭で少しの說明も無用だ。

無用, superfluous.

183. そんな事をすると君の活動の舞臺を狹くする事になりませう。

舞臺, field (of). 狹くする, narrow.

184. 誰にも其話はしてない故兩三日秘して置いて下さい。

話をする, mention.

185. 斯樣な障害物があるのにやつて見て何の効があるものか。

障害物, stumbling-block.

186. 此の族は何うしたのだ、兼て喫烟は止せと言て置いたではないか。

何うしたのだ, does......mean?

187. 何處に居るかサッパリ分らない行先を言はないでコッソリ立つたのだらう。

何處に居るか, his whereabouts. コッソリ, without our knowledge.

188. 何かS君の感情を害したに相違ないそれでなければ斷りなしに歸る筈がない。

感情を害す, hurt. 斷りなしに, without notice.

189. 家が倒るゝや否や火事が始まりましたが幸にも大事に至らずして消し止めました。

大事に至る, cause disaster. 消し止めました, was put out.

190 打ち遣つて置き玉へ左樣すれば獨りでに身の始末をする樣になる。

獨りでに身の始末をする, take care of himself. 樣になる, came to.

191. その面が皆な意氣揚々と云ふ色を現はして居る。

意氣揚々, high spirits. 色を現はす, imprinted (on).

192. その時から漸々貧窮して行つて去年の末には愈破滅の極に達した。

貧窮して行く, impoverished. 破滅, utter ruin. 極, brink; verge.

193. 齋藤は屹度僕に對して怒て居るが其れが僕に何の關係があるか。

僕に對して, with me. 何の......があるか, what ......is?

194. 吾等の眼には華族と平民との間に右の手と左の手との相異しかない。

195. 此の發明で彼れは名を天下に揚げた (天下の名を得たり)。

天下の名, world-wide name.

196. 近年は卒業免狀や學位は持主にあまり役に立たなくなつた。

卒業免狀, diploma. 學位, title. 役, advantage.

197. 會長が此案に贊成して居るや否やと云ふ事は吾々に關係なしだ。

案, proposition. 贊成して, in favour of. 關係す, concern.

198. 其頃には離緣狀のない婦人が再嫁すると髮を切られたものだ。

離緣狀, certificate of divorce.

199. あの人を味方に持つて居なかつたらまだ二三年もか

いつたらう。

味方に, by us. まだ, more.

200. 此の蠻人の人肉を喫ふこと宛も吾人の牛豚の肉を喰ふが如し。

豚, pork.

201. 何と云ふ腑甲斐ない男だらう今一度行つて吉松を連れて來いと云へ。

腑甲斐ない, faint-hearted; milk and water.

202. 私は本當に父が生きて居て相談に與て呉れゝば可いと思ひます。

本當に, heartily. 相談に與かる, give —— advice.

203. その事件を内濟にする爲めに三千圓も取られた(拂はせられた)。

内濟にする, hush up.

204. 全く昨日行つて來たのだが家が判らなかつた幾度もあの邊で尋ねたけれども。

あの邊で, in that neighbourhood.

205. 近い内に立ち寄りませんか米國から來た計りの繪葉書があなたに見せたい故。

立ち寄る, come round. 來た計り, just to hand.

206. 私は初めは警察官の助を求めやうと思ひました。

求める, call for. 思ひました, impulse を *subject* として譯せ.

207. 商人と雖も其樣な卑い策に出でやうものなら絶交される。

に出でる, stoop to. 絶交す, boycot.

208. 刑事巡査が吾に返た時には下手人は最う居なかつた。

吾に返る, come to himself.

209. 石田が關ヶ原で德川を破ても政權は其手に落ちなかつたらう。

政權, political ascendency in the central government. に, into.

210. 數日來會社が調和的の體度になつたと手紙で言て寄越した。

調和的體度, reconciliatory attitude. になる, assume.

211. 假りにあの人が一國の王になるとしたら其主義を其邦に實行するでせうか。

主義, principle. 邦(國土), dominion. 實行する, put into practice.

212. 善吉はまだ受取らないと云ふが御前はその請取證を取つて置いたか。

請取證, receipt.

213. 私の記憶が間違つて居なければあの方は父より十歲丈年上だと思ひます。

丈, by.

214. 私の先づ感じた事は此れは尋常一樣の手段ではやつつけられる男ではないと云ふ事でありました。

感じた事, impression. 尋常一樣, ordinary.

やッつける, humble; cower.

215. あの御喋舌家が左樣な耳よりな話を秘密にして置くことが出來るものか。

お喋舌家, chatter-box. 耳よりな話, news.

216. あの豫備隊で敵の左側を撃つ事が出來たら一層樂に勝が得られただらう。

豫備隊, reserve. 左側, left flank. 樂に, with ease.

217. あの兒はどこへ行ても遠慮しないから誰にでも可愛がられるのだ。

遠慮しない, make oneself at home.

218. 彼は懷を探りて絹はんけちに包んだ何か四角なものを取出した。

包んだ, wrapped up. 何か四角な物, something rectangular.

219. 政府は鐵道國有問題に關し有力なる二三代議士の意向を索れり。

鐵道國有, nationalization of private railways.

意向を探る, feel the pulse (of).

220. 掛け買をする習慣を止めないと遂には進退谷まる樣になりますよ。

掛買, buy on credit. 止める, give up.

221. 醫者は轉地療養を勸めますが公務多忙で其暇がありません

公務多忙, busy *with* my official duties; the pressure of official business.

222. 伊藤侯は昨日參內天皇陛下に拜謁後御陪食仰付られたり。

御陪食仰付られたり, was entertained to the Imperial dinner.

223. 當局者の計算によれば南滿州の鐵道修繕には約一百萬圓を要すべし。

當局者, government experts. 南滿州鐵道, the South Manchurian Railway.

224. 其時始めて自然に備はつて居る私の馬鹿力が大に役に立ちました。

自然に備はつて居る, with which nature has endowed me. 大に役に立つ, stand me in great (or good) stead; of great advantage to me.

225. 發音が惡いからいくら骨を折つて私の云ふ事を解らせる事が出來ませんでした。

骨を折る, try hard.

226. 母は眠れる幼兒の貌をヂット見つめて居たが吾にもあらずワット泣き出した。

ヂット見詰める, stare in the face. 吾れにもあらず, inspite of herself.

227. M銀行は東京地方裁判所の命令により財產差押への處分を受けたり。

地方裁判所, Local Court. 差押への處分を受けたり, has been distrained.

228. 其青年は「人を馬鹿にするな」と云ひさうな貌をして

冷かに笑ひながら立去りました。

云ひさうな, as if to say. 冷に, bitter.

229. Hは首席を占めて居るのを鼻にかけて居たが今度の試驗でGに負けた。

首席を占める, stand first. 鼻にかける, plume oneself (on). 負けた, was beaten (or excelled) (by).

230. 彼れはあらゆる機會を利用して遂に現在の地位に達するを得たり。

あらゆる, every.

231. 自分で自由になる丈の手段を用ゐて事を明白にするす決心だ。

自由になる丈の, in one's power. 明白にする, clear up.

232. 戰後大觀兵式は四月十三日を以て青山練兵場に於て極めて盛大に行はれたり。

極めて盛大に, on a most great scale.

233. 東海ホテルの椅子三百脚競賣に附せられしが遂に一千圓にて落札せり。

競賣に附す, put up to auction. 落札する, knock down.

234. 概して同校の女學生は家事經理上必要なる智識及び熟練を備へて居らぬ。

備へる, equip (with).

235. 去月三十日の朝不二山上八合目附近に凍死體の男の

死體を發見したり。

八合目, the eighth station. 體, apparently.

236. 日本エスペラント會は昨夕神田一ツ橋學士會に於て第二例會を開きたり。

エスペラント會, Esperanto Society.

例會, ordinary meeting.

237. あの國は早晩日本に併呑せられて其一部分となる運命がある。

早晩, one day; some day. 併呑す, annex.

238. 來る車(電車)も來る車も皆兵士や芝居行の連中(人民)でこみ合て居た。

來る…も來る…も, so many……as came.

芝居行の, theatre-going.

239. 此の好機會を取逃がしてまたといつて得られないかも知れない。

好, fair. 取逃がす, let slip. またといつて, another.

240. あんな人は遠ざけて置くがよい、左もないと云ふと大變な損をするよ。

遠ざけて置く, keep at arm's length.

241. 僕をして露骨に確信する所を云はしめば君の其計畫は投機的だから成功は覺束ない。

露骨に確信する所を云ふ, be frank with; speak frankly. 覺束ない, doubtful.

242. 令息戰死の報に接し乃木大將夫人は眞の武士の妻たるに恥ぢず些しも取亂さざりき。

...に恥ぢず, like. 取亂さぬ, bear oneself (ilke).

243. 目下横濱沖に碇泊中の英國支那艦隊は來る土曜日室蘭へ向け出發すべしと云ふ。

沖, off. 出發, sail for.

244. 愈明朝御出發に候や然らば何卒停車場への途次一寸御立寄を乞ふ。

然らば, in that case. 一寸立寄る, just step in.

245. コレお三朝飯を濟したら直ぐ郵便局へ行つて此の手紙を書留にして貰つて來い。

コレ, I say.

246. 頼朝は義朝の第三子なり平治の亂に平氏に捕へられ伊豆の蛭ヶ小島に流さる。

亂, war. 平氏, the Tairas. 流さる, is banished and compelled to live at.

247. 魯艦隊の旗艦は我が沈置せる機械水雷にかゝると見えしが直ちに爆破轟沈せり。

旗艦, flag-ship. 沈置せる機械水雷, one of the mines laid (by). かゝる, strike. 爆破す, blown up.

248. 金満氏は工業學校設立の計畫中ださうだが事實なら誠に賀すべき事だ。

賀すべき事, a matter of hearty congratulation.

249. 上野の櫻花は將に綻びんと致し居候由滿開のときよりも反つて見頃と存じ候。

反つて見頃, *present progressive* を用ひて譯せ.

250. 明日御歸宅で御座いますか久しぶりですから御兩親はドンナに御悦びでせう。

久しぶりですから, after so long an absence.

251. 夏は暑くつて讀書が出來ないと云ふものも少くないが僕は却つて愉快なる夏季は讀書に適すると思ふ。

讀書が出來ない, hardly fit (or adapted) for reading.

252. 早稻田大學の春季大運動會は豫告の如く昨日同校附屬運動場に於て盛大に擧行せられたり。

豫告の如く, as previously announced.

253. 伊藤男爵閣下には明日午後六時新橋發の特別汽車にて御地へ向はれ候右不取敢御報申上候。

閣下. H.E. 御地, your locality. 不取敢御報申上候, hasten to inform.

254. 去る水曜日天皇陛下には午前九時御出門帝國大學へ行幸卒業式に御臨場遊ばされたり。

御臨場遊ばされたり, honoured......with his august presence.

255. 御兩親はあなたが不勉强の結果學年試驗に缺席なされた事を御聞になつたら何と御思召ませう。

結果, on account of.

256. 皇太子殿下には明日午後四時新宿御苑に行啓遊ばされ國會議員及び外國使臣を召させられ御宴を賜はるべしと承る。

使臣, reprentatives. 御宴を賜る, give a banquet.

257. K君は去年の非西藏探檢に出掛けたが其後どうなつたか誰も知りません。

258. 私は日光へ二三度行つた事ありますが御靈屋の立派なことはいつも見飽ません日光を見ない内は結構と云ふなと云ふことは決して過言でありません。

御靈屋 shrine. 見倦む, be tired of seeing.

結構, magnificent.

259. S氏の英作文教科書は組織嶄新にして是迄我が國にて出版したる此種の著書中最良のものなり。

組織嶄新, original in system. 此種の, of the kind.

260. あの老人は僕を見る度毎に『オラノ若い時にはオマヘサンの樣に身體が弱くはなかつた』と云ひます。

オラノ……なかつた, 二樣の文體に譯すべし.

261. 僕が岩崎で千萬圓も自由になれば日本中の貧書生に有ゆる修學の便を與へてやるがナア。

自由になる, have at one's disposal. 有ゆる便を與へる, do everything in one's power to help.

262. 父は此の家を手放す考はありませんが手放すとした所で一萬圓以下では賣りますまい。

手放す, dispose of.

263. 若しもB君が留學に來る事になればC君が電報を打ちます筈ですがまだ何の便りもありません。

264. 君は先生の言葉にもう少し注意したならそんなに惡い點は取らなかつたらうに。

惡い點を取る, get a poor mark.

265. Xは度々僕を罵りますからもう堪忍袋の緒が切れて喧嘩せずには居られません。

堪忍袋の緒が切れた, my patience is exhausted.

せずに居られぬ, cannot keep.

266. 卒業試驗間際に病氣になつたのだから當人は勿論兩親も殘念に思ふのは尤だ。

間際, on the eve of. 尤だ, may well.

267. 此頃は大分暑いから午後手隙になる樣に朝早く起て直ぐ仕事を始める事にして居ます。

手隙になる, be free. にして居ます, make it a rule.

268. 旣に楠君に發言權を與へたのであります、新田君は御干涉に及びません。

發言權, the right to speak. 干涉す, meddle; interfere.

269. Mは如何に不規律でもあんな破廉恥な事をしなければ退學されなかつたかも知れん。

不規律, irregular. 破廉恥な事をする, behave disgracefully.

270. あの青年は不平を云はずに餘分の仕事を快く引受るから早晚好機會を得るに相違ない。

餘分の仕事を快く引受ける, willing to do extra work.

271. 去る四日の夜御臺場附近にて轉覆せし漁船に乘込居たる二人の漁夫は今に至るも行衛不明なりと云ふ。

行衛不明, missing.

272. そんな法外な直を云つてはいけない今必す要ると云

ふのでもないから負からなければ見合せませう。

法外な直を言ふ, ask an exorbitant price. 必ず要ると云ふのでもない, I am in no positive need (of). 見合せる, abandon my intention of taking ...... ; give up the idea of taking.

273. 失敬な言を言つたかも知れませんが少しも覺えがありません實はあの時は飲過ぎましたと言て居る。

覺えがない, not recollect having done so. 飲んで(醉て), drunk; in his cuqs.

274. あの人は怜悧過ぎて何をしても尻が落ち付かないと云ふが或はさうかも知れないがチト可笑しく聞える。

何をしても尻が落ち付, remain long in any occupation. 可笑しく聞える, sound funny (or strange).

275. あんな障害物さへ現はれなければ旨く行(成功)こと疑なしだつたけれども。

障礙物, obstacle. 現はれる, present itself.

276. 彼奴は無類の骨董あさりだ出逢ふ度毎にその道樂談で人を困らせる。

無類の, to the back-bone. 骨董あさり, cario-hunter. 道樂談, hobby. 困らせる, weary.

277. 何も不平を云ふべき事がありません銘々に部屋を一つ宛控へて居るのだ故。

不平を云ふ, complain (of). 銘々, to himself.

278. あの五人の中で此度の事に抜群の勳功を立てたものがあれば其の人は勿論松尾だ。

抜群の功を立てる, do more.

279. そんな無鐵砲な事をして若し何か異變があつたらどうする積りだ。

事をする, act. 異變がある, go amiss.

280. 今朝見て貰らつた醫者は駄目だと申しますが井上樣はさうでないと考へて居ます。

見る, examine. 駄目, a gone case. さうでないと, to the contrary.

281. 天地間を隈なく探しても手がゝりを得やうと決心した。

手がかり, clew (or clue).

282. あの音なしかつた御嫁さんが此頃は夫の些細な弱點をやかましく責立てるとは奇妙だ。

些細な, petty. やかましく責め立てる, lecture (on).

283. 私は美しい葉書帖を有て居たが夫は元の御主人から紀念に貰つたものであつた。

帖, album. 元の御主人, my former employer. 紀念, memento.

284. 私はあなたに同情して居ます、のみならず御助力もしてお上げ申さうと心掛をして居ます。

のみならず, and what is more. 心掛をして居る, am ready.

285. 實に可哀そうだ親父樣さへ生きて居れば學問を繼續する樣に學資を出せるだらうに。

樣に學資を出す, afford.

286. 砲彈が或は唸て吾々を越して行き或は少距離の處で爆破したが將軍は動かなかつた。

唸る, boom. 越して, past, 爆破す, explode.

287. 目の覺めた時に兄が蒼ざめて著く惱亂して私の寢床の側に坐て居るのを見て大に驚いた。

著く惱亂して, visibly agitated.

288. 何か意外の變化が起て然かも電報で吾々の意見を徵する暇がなかつたら君の獨斷でやつて呉れ。

意見を徵す, consult. 君の獨斷, your own judgement. やる, act.

289. 鍔を落して見たら其父の若い時に佩し慣れて居て其後盜取られたその刀だと云ふ事が判明した。

落す, remove. 佩す, wear.

290. 我が國にても敎育が僧侶の手に在りしときありき、然れども今は此の二者の間に何等の關係なし。

手に, in the hands.

291. 其問答が餘程爲になつて私はそれを組織的にすることが出來ると云ふ事を思ふ樣になつた。

爲になる, suggestive. 組織的にす, systematise.

出來ると云ふこと, possibility.

292. 本縣第十中學校第八年生は校長排斥運動をなしたる故を以て二週間の停學に處せられたり。

排斥運動をなす, agitate for the removal (of).

停學, suspense from school.

293. X氏は資金に缺乏を告げ進退谷まりて代議士候補を辭したり。

資金缺乏, want of funds. 進退谷まりて, in an awful fix; in dire straits.

294. 高楠博士の盡力により東京に一大圖書館の將に設立せらるべき由を昨日の Japan Mail は報したり。

將に設立せらるべし, is about to be established.

由, the news that.

295. 馬賊は近頃滿洲の南方に現はれ我が巡査を攻擊し且つ土人に對し少からぬ損害を與へたり。

馬賊, mounted bandits. 少からぬ損害, no small loss.

296. 橫濱電燈會社本年上半季の純收入は七萬一千五百〇八圓にして配當は年一割五分の割合なり。

本年上半季, for the (or first) half year. 純, net.

配當, dividend. 年一割五分, 15 percent per annum.

297. 天皇、皇后兩陛下には臺灣、室蘭に於ける此度の大火災罹者に二百圓の御救恤金御下賜相成りたり。

御救恤金御下賜相成りたり, have been graciously pleased to donate.

298. ムーア中將は森山中佐同伴去る十一日午前靑山墓地なる廣瀨中佐の墳墓に參拜せり。

墓地, cemetery. 墳墓に參拜する, pay a visit to the tomb (of).

299. 午後七時五十五分頃銀座二丁目の某金物屋所有の倉庫突然崩壞し爲めに隣家二軒は全く押潰されたり。

金物屋, hardware store. 所有, belonging to.
崩壞す, collapse. 爲めに, in consequence.

300. 本年の東京帝國大學卒業生中に韓國人一人清國人一人あり而して前者は造船科を後者は採鑛冶金科を修了せり(終る)。

造船科, the course of ship-building. 採鑛冶金, mining.

301. 昨日午後九時上野停車場構內に入り來りし貨車二輛客車三輛より成る第百〇四號列車は信號手の過失により他の列車と衝突したり。

構內, precincts. 貨車, van. 信號手, signal-man.
過失, mistake.

302. 日本橋區に有之候ひし下名の事務所は本日京橋區南傳馬町一丁目五番地へ移轉候。

下名の, undersigned.

303. 昨日小川町で一人の醉漢車掌の注意を聽き入れず電車より飛下り上仰樣に倒れて即死せり。

車掌の注意, conductor's warning. 飛下る, jumped off. 即, instant; on the spot.

304. ロイテル電報の傳ふる所によれば近頃佛蘭西國籍の社會黨員は露帝暗殺の陰謀を企てたりと云ふ。

ロイテル電報の傳ふる所によれば, Reuter wires (that). 國籍, nationality. 社會黨員, socialists.

露帝暗殺の陰謀, attempt on the Czar's life.

305. 先頃外來漫遊者の爲めに一大旅館を建設せんとの噂ありしが未だ何人も其設計に着手せる模樣なし。

噂ありたる, which has been talked (of). 設計に着手す, a start is made.

306. 父は隨分の金額を殘こして呉れましたが私の心得違で大概使つて仕舞ひました。

隨分の, considerable. 心得違, misconduct.

307. 文部省はX工業學校に對し向ふ十ケ年間每年千五百圓の補助金を給與する由を告示せり。

每年の補助金, annual subsidy. 告示す, notify.

308. 彼れは暴動を鎭撫せんと百方盡力せしと雖却て其氣勢を助長するのみなりき。

鎭撫す, suppress. 氣勢を助長す, add fuel to the flame.

309. Bは高等學校と商業學校の入學試驗を受けた所が兩方共合格したので困つて居ます。

合格する, pass successfully. 困つて居る, has got oneself into a mess.

310. 昨夜青年會館の音樂會に於ける A 孃の violin 獨奏は滿場の大喝釆を博せり。

獨奏, solo. 滿場の大喝釆を博す, bring down the whole house.

311. 昨一日例に依り宮中に於ける元始祭舉行相成天皇陛下には午前十時賢所參拜遊ばされたり。

例に依り, (the) usual (*adjective*). 元始祭, New Year Services. 賢所, the Imperial Sanctuary.

312. F は都合よく世に出て三十代にして既にX火災保險會社の專務取締となりぬ。

都合よく世に出て, have a good start in life. 專務取締, managing director.

313. 電報に接するや否や予は直ちにY氏宛一千圓の手形を三井銀行に振り出したり。

Y氏宛, in favour of Mr. Y. の手形を……に, draw a bill upon …… (for).

314. S が騷動の首謀者と見做されて居るが實は意外な所に影武者があるさうだ。

首謀者, ringleader. 影武者, wire-puller.

315. 兇漢は逃げ難きを悟りて大膽にも何喰はぬ顏して警官の方へ進み寄りたり。

大膽にも何喰はぬ顏して, put a bold face (on).

316. どうして見ず知らず同様な人が千圓と云ふ大金を無擔保で貸して呉れると云ふのでせう。

無擔保, without security.

317. 予は非常なる熱心を以て忠告を與へしも彼は予の沈痛なる語氣に對し冷然と構へ居たり。

沈痛なる語氣, sighing strains. 冷然と構ふ, turn a deaf ear; remain cool and indifferent.

318. どうか事實をスッカリ打ち明けて下さいさうすれば御役に立つかも知れませんから。

スッカリ打明ける, break tell.

319. 其階子段の直ぐ上の喫煙室に這入つたらば偶然例の鼻の赤い肥滿紳士に出くはした。

の直ぐ上の, just up. 偶然出くはす, hit upon; run against.

320. 陸は極めて近けれども若し予にして海岸の方向に進まんか岩に碎くる怒濤の爲めに確かに一命を失ふべし。

方向に進む, make for. 碎くる, dashed.

321. 例の評判の高利貸しは息子が非命な死を遂げてからスッカリ心を入れ替て慈善家になりました。

評判の, notorious. 非命な, unnatural. スッカリ心を入れ替へる, turn over a new leaf; reform oneself.

322. 明治四十五年に我が國に於て催さんとする萬國大博覽會に關し當局者は必要なる調査を爲しつゝあり。

萬國大博覽會, the great international exhibition; the world's fare. 關し, in connection with.

323. 君は昨夜 D と激論をしたさうだが(君は)多分彼が一旦怒ると如何に恐るべき人物なるかを知らぬだらう。

激論する, have high words.

324. 大將は謙遜にして自己の功績を誇る事なきも其部下の士官等は將軍の武略を賞揚して止まざりき。

部下, under him. 賞揚して止まず, laud to the skies.

325. 清盛は生れつき惡人ではなかつたらしいが專心に政

權を掌握しやうとして他を顧る遑がなかつたのだ。

專心に政權を掌握しやうとする, blinded by his ambition for political ascendency.

326. 某鐵道會社の驛夫八十名ばかりは去る日曜日以來同盟罷工して增給を乞ひ懇々說諭するも未だ職務に服せず。

を乞ふ, for. 懇々, earnestly. 職務に服す, resume work.

327. 電話事業が明治二十五年に初めて開始されし當時は加入者僅かに約七百名なりしが其後漸次增加して今日は三萬七千名に達せり。

電話事業. telephone service. 加入者, subscribers.

328. 昨日日沒後一少女が素足にて吾妻橋邊を徘徊して居たのを巡査が發見して直に最寄の派出所へ連れて行た。

素足にて, barefooted. 徘徊する, wander about.

329. 斯く期限を誤らず御返金の儀と承知致し居候はば御催促がましき事を申上ぐるには及ばざりしものをと今更慚愧の至りに堪へず候。

期限を誤らず, not missing the time (in); be punctual (in). 御催促がましき事, something like a press. 慚愧の至りに堪へず候, I am much ashamed to (have written).

330. 長く御近所に居ることは出來ません、家主の東京へ歸り次第私は引越さなければなりません。

引越す. move.

331. これは宗盛の父の作た傘だあれは賴朝五歲の時の

頭顱骨だ抔と案內人が云ひますが本當の事でせうか。

頭顱骨, skull. 案內人, guide.

332. 其れは云はゞ丸い人間を方形の孔へ押し込むと云ふものだ。

333. 佐藤は行く氣がないと云て居るが僕は行て見たい樣な氣がする。

氣がする, care. 見たい樣な, half a mind to.

334. 慾得づくで御用をつとめたのではないと云てあの包をどうしてもとりませんでした。

慾得づく, for consideration.

VI. Verbals.

1. 御父様、私は帽子の新らしいのを奢て頂きたいのですが。

を奢る, treat …… with.

2. 飲酒喫煙は健康に害あり。

3. 讀書室の外へ書籍雜誌等を持出すべからず。

4. 發見することは〔最早〕絕望です。

絕望す, despair.

5. 父は其の手紙を讀了た時に一聲嘆聲を發した許であつた。

一聲(の)嘆聲, a sigh.

6. 左樣な業をするのは仲々以て正當とは言はれない。
正直どころではなく奸譎な人物だ。

奸譎な, roguish.

7. 是を以て之を見れば文明といふもの必竟懷疑的物質主義の異名たるに過ぎず。

是を以て, in this light. 必竟, after all. 懷疑的, sceptic. 物質主義, materialism. 異名, another.

8. 早起は人を健康にし活動的ならしむ。

9. どうか此の手製の菓子を召上て下さい。

10. 貸家ならば自働電話箱の向側の横町にあります。

自働, automatic. 箱, box. 向側の, over against.

11. 吉田は本を返した例しがない故貸さない事に決めて居る。

決めて居る, make it a rule.

12. 恩知らずに親切を盡すのは泥溝へ錢を投込む樣なものだ。

13. その洪水が該郵便物送達の妨げになつた。

14. 直ぐ行て醫者を呼んで來て頂けませんか。

15. 主辭として用ひたる二個の名詞を "and" を以て結び而して該名詞にして同一物を指す時は働詞は單數なり。

結ぶ, join. を指す, refer to,

16. 直ぐ野鄙な話をしたがる人と交際する程不愉快な事はない。

直ぐ野鄙な話をしたがる, liable to talk of vulgar things.

17. あの人は目はしがきく、仲々侯爵の怒に觸れる樣な人ではない。

目はしがきく, he has a quick eye. 怒に觸れる, stroke one's hair the wrong way.

18. 下の文に見ゆる如き句を稱して collateral といふ。

句, clause.

19. 牛込小石川邊には此頃貸家が少ない。

20. 公平に批判すれば此度の事に就てはあの人に別に罪は(批難すべきて)ない。

公平に批判す, do justice. 此度の事, this affair.

21. 木下氏は多年精勵の結果宿望を達することを得た

り。

宿望, the object he had long (or for years) in view; his long-cherished desire.

22. 今後數年間此の儘にて異動なかるべしと思はる。

23. 他人が左樣な親切を盡すといふことは望まるべき事でない。

24. 「ハムレット」の樣に「存ふべきか或るはまた存ふべきに非ざるか。こゝ吾が思案のし所ぞ」と言ひたい。

こゝ吾が思案のし所ぞ, that is the question.

25. 此城内に踏込むのは即死をすることになる。

即死, instant death.

26. その方法は(それは)何より先づ A と B との間で敵の兵站線を斷つに在る。

兵站線, line of communication.

27. 據ろない用事があつてあの會には行かれないかと思はれます。

據ろない, unavoidable.

28. それを至急訂正して頂きたいのですが。

訂正す, revise.

29. 故意に其に名を署しないで送たといふことは疑ない。

故意に, purposely; on purpose. に, to.

30. 重傷を受けて居たけれどもオメ〳〵敵の手に落ちることを嫌た。

重, severely (*adverb*). オメオメ, like a coward.

31. あんな芝居は二度も觀に行く氣がない。

32. あなたが其を買ふ事に對しては些かも異議はありません。

異議, objection.

33. あの人が君の其の申出を辭したといふ事に何の不思議もない(見えない)。

辭す, decline. に, in. 何の不思議, nothing wonderful.

34. 脚を甚だしく挫傷して倒れて居た。

挫傷す, bruise (*transitive verb*).

35. 病人が頻りに女親に逢ひたがつて居るが呼びにやつたら如何でせう。

たら如何でせう, what would you say to.

36. 張飛が陣頭に現はれるばかりで敵兵は逃げ出した。

陣頭, the front. ばかり, mere.

37. { 戸締りがしてあるのを見て直ちに立去た。
戸締りをして了て例の如く口笛を吹きながら出掛けて行た。

戸締をする, lock. 口笛を吹く, whistle.

38. 人の智識も神のそれと比較したら言ふに足らない。

言ふに足る, worth mentioning.

39. 難有いといふ一念で年月の經つに連れ愈よ勉强した。

難有いといふ一念, his gratitude. たつ, pass on.

40. あの子を教えるのは最う厭き果てた。

41 君はあの子を無教育で打棄てゝ置く積りか。

42. 歯醫者の門前へ來たら歯が不思議にも痛まなくなつたo

歯醫者, dentist. 痛む, ache.

43. その中二人は反兵であるといふ事が判た。

反兵, deserter.

44. 陳腐な駄洒落をいつて嬉しがつて居る。

陳腐な, old stale; hackneyed. いふ, crack.

45. 寸時も猶豫(失ふこと)は出來ない、高直をつけるものに持去られる恐れがある故。

高直をつけるもの, a higher bidder.

46. 機會の來るまで待つなどゝいふ奴は馬鹿だと固く信じて居る。

固く, firmly.

47. それがお前のラムプ掃除の仕方か。

掃除す, clean and trim.

48. 丁度七十だといふ故耳が餘程よく聽えるのだ。

49. 覺える値のあるものなら少しも早く研究に取懸た方がよからう。

値のある, is worth. 取懸る, set about.

50. 其の遺趾を靈域としてある。

遺趾, site. しとある, is held.

51. 小生留守中は學校の御監理萬端宜敷奉願候。

萬端宜敷奉願候, have the kindenss.

52. 誠にお生憎様只今賣りきれまして御坐います。

賣り切る, sell out; are gone.

53. 進藤は少し臆面のある附合て行くに六けしい(男)だ。

臆面のある, shy. 附合て行く, get on with.

54. 僕は自信がなくて其の秘密をあの人に明かし兼ねる。

自信がない, diffident. 明かす, break.

55. 自分の損失の事は兩親に言はない事に決意して居ます。

56. あの歌を讀んで誰が笑はずに居られませう。

57. 犬を十疋も飼ふとは餘程犬好に相違ない。

57. 電氣を利用して空中を飛び廻る方法はなからうか。

利用する, utilize.

59. 御着京の上は御住所至急御通知願ひ度候。

60. 自分で家を建てる迄は今の處に居る方が可然だよ。

61. 打ち明けて云へば私の様な常識に乏しいものは國家に用をなさない。

乏しい, wants; lacks; is destitute (of).

62. 不思議なるかな上人を切らんとてうち下したる太刀は三段に折れたり。

不思議なるかな, *absolute infinitive* を用ひて譯すべし. 三段, three pieces.

63. そんなに掛直を云てはいかん、さうさアコーツト三圓に負けて置け。

さうさアー, well; let me see.

64. 此の節ほど金の出る年はないどうしても收支償はな

い。

此暮程金の出る年, such an expensive December as this.

65. 明日は仔細あつて臨時休業だから登校するに及ばぬ。

仔細ある, for a certain reason.

66. 負傷者は何か言ふらしく唇を動かしたが何も聞えなんだ。

67. 急ぎの用事だから道草を喰はぬに樣小僧に云つて吳れ。

道草を喰ふ, waste time.

68. 少し遲れて食堂へ這入りましたら空椅子が一つもありませんでした。

少し遲れて, a little behind time.

69. どうしてよいか決しかねますからあなたの御見込みに任せませう。

どうしてよいか, what to do; what course to take.

見込みに任す, leave to decide.

70. あんなに堅かつた石部がどうして空想に煩悶する樣になつたらう。

堅い, matter-of-fact. 空想, empty thought.

71. 冗員陶汰の結果三百人ばかりの官吏非職となれり。

冗員陶汰, the dismissal of.

72. 人の將に死なんとするや其言ふこと善し。

善し, (speak wisely).

73. 刑事被告人は重懲役三年の宣告を受けたり。

重懲役, penal servitude (or imprisonment) with hard labour.

74. 一足しかない靴を盜まれたから已を得ず新調した。

一ツしかない, only (*adjective*).

75. 此の時計は每日三分づゝ進むから直させねばならぬ。

進む, gains.

76. 人の油斷に付け込むのはよくない公明正大に行ひ玉へ。

人の油斷につけ込む, catch others napping.

行ひ玉へ, behave yourself.

77. 當所に太物店開業仕候に附ては貴店と御取引相願度候。

取引する, open an account (with).

78. 倘此上とも御愛顧御引立の程奉願候。

御愛顧御引立, your countenance and favour.

79. 彼の件に付き御相談仕度候間明朝七時迄に御來車被下度候。

下され度候, I beg you.

80. 十年餘も逢はないからチョット途中で出合つた位ではとても分るまい。

分る, recognize.

81. 久しく御目にかゝりませんでしたが此頃は如何御暮しなさいますか。

久しく, it is a very long time (since).

82. 暑中休暇中滿洲へ御旅行はいかゞですか。

いかゞですか, what do (or would) you say (to)?

83. 授業中居眠をするなら學校に行くのは無駄だ。

授業, lesson hours; while in class.

84. 憚りながら校長へ紹介書を書いて下さいませんか。

憚りながら, do you mind; would you please?

85. 拙著國文法書は印刷出來次第必ず御送附可仕候。

拙著, my. 必ず送附可仕候, *gerund* を有する組立方を用ひて譯すべし。

86. 言ふまでもなくKは決斷に乏しいから失敗したのだ。

言ふまでもなく, *gerund* を有する組立方を用ひて譯すべし.

87. 昨日釣りに行たが一尾も釣れなかつたから歸りに買つて來た。

88. 北國だから其覺悟で出掛けたら寒い所か却つて東京より暖い位だつた。

寒い所か, *gerund* を有する組立方を用ひて譯すべし.

89. 君の英斷を以てすれば此の困難を切りぬけるのは造作もなからう。

以てすれば, with. 困難を切りぬける, get out of the scrape.

90. 所謂ハイカラ黨の一人だと云はれて下田は立腹し高

田を擲らうとした。

ハイカラ黨, swells.

91. あんな若いものにそんな貴重品を委ねたのは君の不注意だ。

92. 巡査に取り圍まれて流石の惡漢も到底逃れ難きを悟れり。

流石の惡漢, dare-devil villain as he was. 到底逃れがたきを, *gerund* を用ひて譯すべし.

93. 當春以來御無音に打過ぎ候段定めて御立腹の儀と奉存候。

御無音, not having written (to). 御立腹, make you feel unpleasant.

94. 勉強家の吉田が昨日欠席したのは母の病氣が惡かつた爲めだ。

爲めだ, is due (to).

95. 其恐るべき光景に接し余は暫時驚愕言ふ所を知らざりき。

言ふ所を知らず, stand struck dumb.

96. こんなに倒れ樹があるから餘程烈しく吹いたに相違ない。

97. 一寸先は暗夜(一瞬間後に如何なる事が起るか分らぬ)。

98. MとNとの間柄は云はゞ兄弟も同樣であるのにどうして絶交したかしらん。

間柄は……同樣である, are as intimate as. 絶交

する, break off.

99. 觀兵式を拜見して參りましたが戰後(はじめて)の事で殊に壯觀でした。

100. 乃木大將は令息戰死の報に接し『さうか』の一言を發せしのみなり。

のみなりき, did nothing but.

101. 内の書生に契約書を寫させたら非常に書損があつたから B 君にやつて貰つた。

内の書生, my dependent; my hanger-on. 契約書, the contract.

102. 明朝六時新橋發の汽車にて歸任の積りに候間當分拜眉の榮を得難く候。

歸任す, go back to one's post. 榮を得る, have the honour.

103. 沼津滯在中余は皇太子殿下の御散步姿を拜した事が屢々であつた。

屢々である, often (*adverb*).

104. B 教授は熱心に講義をするけれどもどう云ふものか要領を得るに苦しむ。

講義する, lecture. 要領, the essentials (or main point).

105. 有望なる青年は三ヶ年の後歸朝すべしとの約束にて留學を許可されたり。

約束にて, on condition (that). 留學する, go abroad for.

106. かうなつて見ると魯艦隊は遂々全滅されに來た樣なものだ。

全滅される, to be annihilated.

107. 裁判官は懇々說諭の上遂に惡漢をして自狀せしむる事を得たり。

懇々說諭, long hearty advice.

Active と *passive* の二法に譯せ.

108. 酒杉は手酌で飲んで居ましたが頓て額越しに私を白眼み始めました。

手酌で飲む, help oneself (to) wine. 額越しに白眼む, glare at one over the brow.

109. 御誕生の御祝宴に寵招を辱うし難有御請申上候。

110. 成敗(その結果)は姑く措いて論ぜず該戰鬪に於ける將軍の作戰計畫はその上乘なるものなりき。

作戰計畫, plan of operation. 論す, speak of.

上乘なるもの, masterpiece.

111. あの地方には未だ鐵道がなかつた故荷物は悉皆馬に載せて運ばせた。

馬に載せて, on horse-back. 運ぶ, convey.

112. 小泉から手紙を寄越して近日上京する故十日迄避暑地へたつことは見合せて呉れろと云て來た。

上京す, come np to town. 避暑地, our summer resort.

113. 官職は褫奪せられ親姻故舊には見捨てられ東京に永訣して故山へ歸た。

褫奪す, strip (of).

114. 何だと(船の)漕ぎ方も知らないで短艇競爭に加はる積りだと無鐵砲にも程がある。

漕ぎ方, how to row. にも, even. 程がある, must have some limits.

115. 少なからぬ金と時を費やして漸く大學まで進んだのに今になつて廢學するとは愚の極だ。

少からぬ, not a small amount (of). 廢學する, give up (or discontinue) one's study. 愚の極, stupidity itself.

116. 大學卒業後僅か三年の中に大學教授に任命されたからには二木君は餘程の俊才に相違ない。

餘程の俊才, a rare genius.

117 此の多事の世の中に血氣の青年が徒に手を袖にして爲す事なく日を送るは實に耻づべき事ならずや。

血氣, full of vigour. 徒に袖手して, stand idle. 爲す事もなく日を送る, while away one's time.

118. あなたが一緒に御出で下さる御氣がなければ私一人で行て片を附けて來ませう。

氣がない, not feel disposed. 片附る, settle the matter.

119. 昨夜十時頃歸つて見たらもう下宿屋の戸が閉つて居た癪に障つたから毀れる程敲いてやつた。

癪に障つたから, losing my temper. 毀れる程, so violently that it seemed as if were going to be smashed.

120. 斯の如き貴重なる書籍を博學なる著者其人より惠まるゝは眞に欣喜の至りに候。

眞に欣喜の至りに候, it is indeed delightful.

121. 僕は夏になると何處かへ旅行に出ずには居られません今年は北海道の方へ行く積りです。

(旅行)に出る, go on.

122. 奴の『入らつしやい何を差上げませう』が實に冷かなる事水の如しだ。

だ, sounds.

123. あの人は氣狂だと云ふ事ですが本統ですか、イーエ氣狂であつたと云ふ事ですがもうすつかり快復したさうです。

124. 土曜日の午後三時に會合する事にしてある故どんなに降つても其れ迄に出席せねばならぬ。

どんなに降つても, if it rains cats and dogs.

125. 木村氏は堅忍不拔の青年なれば障害に遭遇するも決して半途にして事業を廢する如き事はなかるべし。

堅忍不拔, resolute and persevering spirit. 半途にして事を廢す, do anything by halves. 遭遇す, lie on the way.

126. 學生の本分は常に健全なる思想を有し確實なる目的を持するにあるは固より言を俟たず。

健全なる思想, steadfast mind. 持する, propose to themselves a fixed purpose.

127 どの旅館も滿員であつたから或る寺へ頼んで其夜を明すより外仕方がなかつた。

頼んで其夜を明す, ask for the night's lodging.

128. 吉田は机の上に開た儘乘て居た手紙を指差して其れを見ろと怒鳴た。

開た儘乘て居る, lying unfolded.

129. 今朝登校の途で頑童が小犬をイヂメテ居たから動物の虐待すべからざる事を説いて聞かせた。

頑童, urchins.

130. 子供に見事な繪はがきを澤山に御親切樣皆大喜びて御座います。

大喜び, afford great enjoyment.

131. 手放せぬ用事がありました爲め永く御待たせ申しまして御氣の毒に存じます。

手放せぬ用事, urgent business.

132. 教員檢定試驗を受けん事予が年來の志望なるを以て予は從來の如く英語を研究せんと決心せり。

教員檢定試驗, the examination for teachers' license.

133. 我軍は如何なる困難の場合にも死傷者を戰場に遺棄して退却する如き事なし。

如何なる困難の場合にも, whatever difficulties they may have to encounter.

134. 弊店に持ち合せの品は直ちに發送仕候間左樣御承知被下度餘は不日船廻しにて御送可申上候。

持ち合せ, have in stock (or on hand). 左樣御承

知被下度, please note 船廻にして, by sea.

135. 時に軍艦の話の序だが戰艦香取の近日到着すると云ふ電報が海軍省へ來たさうだ。

時に軍艦の話の序だが, *absolute participial phrase* を用ひて譯すべし

136. 其筋の最近調査によれば平和克復後東京に留學する支那女學生の數著しく增加したる由なり。

其筋の最近調査, the latest investigations made by the authorities. 克復, restoration

137. 健康に差閊がなければ是非來年は洋行する事に決心して居ます。

健康に差閊がなければ, if my health permits

138. 昨日園遊會へ君と一緒に來た肩幅の廣い中年の紳士は誰ですか。

肩幅の廣い, broad-shouldered.

139. 青年は長い間身動きもせず石碑をヂット見詰めて居たが頓て涙をハラハラと流して地上に伏した。

ヂット, intently. 見詰めて居たが, "with"+ *noun+past participle*.

540. 午後三時敵の陣地全部を占領せり而して我が軍の損失は僅かに廿五人に止まりき。

141. 據なき家事用に妨げられ御懇篤なる御招待に應し兼候段遺憾此事に御座候。

妨げられ, have my hand tieds (by). 應し兼ね候, have to decline.

142. 貴兄には此度帝國大學教授に御就職の趣大慶の至りに候先は不取敢御歎申上候。

不取敢, can not delay. 御歎申上候, offering to you my most sincere congratulation.

143. 殊に教育の任に當るものは宜しく留意戒心し流毒を未然に防がざるべからず。

留意戒心, take precautions. 流毒, evils; corruptions. 未然に, before they spread out.

144 『敎ふるは習ふなり』と云ふ諺があるが英語教師としての僕は丁度さうであつた。

丁度さう, just the case (with).

145. 君はXに一片の忠告を與へたさうだが僕は馬の耳に念佛と思はざるを得ずだ。

一片の忠告, a piece of advice. 馬の耳に念佛, pouring prayers into a horse's ears.

146. 其田舍者の様子が笑止しいので笑ひ度て溜らなかつたが失禮だからヂットこらへて居た。

様子が笑止しいので, comical air (*subject* として用ひよ).

147. 二三町先に電車が見えたから雨中に佇んで待て居たが中々やつて來なかつた。

雨中, in the rain. 中々やつて來なかつた, *gerund* を有する組立方を用ひて譯すべし.

148. 吹雪の中を歩く程辛い事はありません息もつけず其上體中がビッショリ濡れて仕舞ます。

吹雪, snowstorm. 歩く程辛い事はありません, *gerund* を有する組立方を用ひて譯すべし.

息をつく, take breath 體中がビッショリ濡る, get wet to the skin; drenched through.

149. 喇叭を吹き大皷を叩き旗を飜して英國の使節の一行がやつて來た。

吹く, blow. 飜す, flying. 使節, envoy.

150. 其の翌朝何處の誰とも判らないものが近傍の竹藪の中に斬殺されて居た。

何處の誰とも判らないもの, a stranger; a man of whom nothing was known.

151. 一週間の後それが庄屋様の親戚で遠國から庄屋様を尋ねて來たものだといふ事が判た。

庄屋様, the squire. 遠國, a for-off (or distant) part of the country.

152. 甲の者には眉を顰めしめる様な事物が乙の者には面白いといふことは往々ある、人間の氣質好尚は其様に違ふものだ。

眉を顰めしむ, shock (*transitive verb*).

153. 大醉して居たが土足にかけられた事丈は微かに覺えて居たから復讎をしやうと決心した。

土足にかける, kick and tread by sandaled feet

144. 悲んで落膽した後には燒けになつて飲初めて終にもと使て居た番頭よりも貧乏になつた。

燒け, desperate. 初める, take to. 番頭, shop-man.

VII. Adverbs.

1. 私は全く一文なしです。
2. 岸田翁はさうではなかつた。
3. 一筋縄では可かない人物だ。
4. 概算して見るに一千人位ある。
5. 一年に幾度位行きますか。
6. 今までは先づ上首尾です。
7. 主人の方も幾分か悪い(罪ありとの意)。
8. 多分明晩遅く來るでせう。
9. 其日から伊藤は別人の樣になつた。
   別人の樣に, a new man.

10. 支那は日本より遙かに大きい。
    日本は東洋でヅン抜けて强い國だ。

11. 九分九厘吾々の願を容れるだらう。
    吾々の申込みを斥けさうですよ。
    容れる, accede (to); comply (with). 斥ける, reject.

12. 少し物わかりが遅緩です。
    物わかりが, to understand.

13. 猿も衣裳からとはよく言たものだ。
    猿も衣裳から, even an ape looks less ugly when well dressed.

14. 若し見當たら直樣御知らせ申します。
15. 少々下さい, ホンの一滴、よし、夫で澤山。

16. チヨツト御待下さい直に歸て參ります。
    直に出懸けやう。
    私が歸京すると直ぐ出發しました。

17 あれを買たのはまだ兩三日前の事です。
   まだ, but

18. 君の御望通り明朝使を出します。
19. あれ程無鐵砲な行をなすものもない。
20. 大人〔すら〕然り、況んや小兒に於てをや。
21. 米國が終りまで戰に關係しないで居るでせうか。
    居る, stand; remain.

22. 予の未だ曾て聞かざる所なり。
    予曾て京都に遊び東山紫山と相識る。

23. 朝左まで早く起きなくてもよい。
    なる丈け早く返事をして頂きたい。
    矢の樣に早く飛ぶ。
    自轉車は十里や二十里の間は汽車より早く走る。
    もつと早く刀を引かないとお面を打たれる。
    返事をする, give an answer. 引く, withdraw.
    打たれる, have a blow.

24. 月は日より比較にならない程小さい。
25. まさしく佐久間は事の始末を詳しく知つて居る。

26. 私は大概五時に起る。
    窓には通例硝子をはめる。
    概言すると夏の花は春や秋のよりも華やかだ。
    硝子をはめる, glaze. 華か, gorgeous.

27. 東京丈けに就て見ると近來非常に減じた。
28. 妻君が死にでもしやうものなら猶更こまる。
29. 最う此上待つ事は出來ないと答へた。
30. 何も變たことはないか見て來い。
31. 昨日逢た時には魚釣に行くと云て居ました。
32. {僕には出來るが君にも出來るだらう。
僕には出來ないが君にも出來ないだらう。}
33. 今丁度九十度だが其割合には暑い。
34. 親友間に遠慮はいらぬサア打明け玉へ。
35 漁夫は多勢を頼みに「打倒して仕舞へ」と叫びたり。
36. 未だ先に一日あるから今から行けば間に合ふ。
37. 彼は十年一日の如く熱心に職務に従事せり。
十年一日の如く, for long years 熱心に, *noun* + "and" + *noun* の *phrase* を用ひて譯せ.
38. 回想すればする程益々解らなくなる。
解らなくなる, feel at sea.
39. 夜が明け離れた、戰鬪はまだ止まぬ。
明け離れる, break.
40. A は B 位英語が話せるが、C 程は話せない。
41. 我儘な生徒はやさしくすると益不規律になる。
42. 凶事から吉事となる事あり(が出て來ることがある)。
43. 苦戰中折よく援兵到着して遂に勝を得た。
44. 天明年間に既に我邦に行はれて居た。
行はれる, is in vogue.
45. 此文章には動詞が態と省いてあるのですか。

46. 別封拙稿御送附申上候間御添削願上候。
別封, enclosed. 添削, correct.
47. 其結果は既に軍隊の訓練上に明に見えて居る。
訓練上に, in the training. 見えて, visible.
48. 日本ではそんな戸外運動は殆んど知られて居ない。
戸外運動, out-door sport.
49. 私共兩人共餘程あの方の御蔭を被て居ます。
御蔭を蒙る, indebted (to).
50. それから以來私は始終地方に住みました。
51. 明日は靖國神社の臨時祭だから屹度雜踏します。
臨時祭, extraordinary fite. 雜踏する, there will be many people there.
52. それは至極御尤もですが先方の心中も御察し下さい。
先方の心中を察する, sympathize with him.
53. 世間見ずの乳臭兒ではあるまいし其手を喰ふものか。
世間見ずの乳臭兒, unexperienced greenborn.
其手を喰ふ, ensnared (or cheated) in that way.
54. 英文法には精通して居るが、會話作文は巧でない。
精通, well up (in).
55. 再三忠告したけれどもどうしても目が覺めない。
目が覺める, wake to his own interests.
56. {あなたは御空腹ですか、ハイ空腹です、私も空腹です。
私は少しも欲しくない、私もです。}

57. 中佐の船に飛び移る刹那一彈來て彼を射殺した。
58. N伯は氣むつかしい人だと云ふ評判だが、私はさうでもないと思ふ。
　　氣六ヶ敷い, hard to please. 評判だが, they say.
59. 案内者は何時でもあの佛像は一千年前の作だと云ひます。
60. 何時何處から來て何時何處へ行たか誰も知らない。
61. それは唯だ熱心と云ふ事が淺間しい程欠乏して居るからだ。
62. Glands は總て意思と云ふものと全く無關係なものだ(獨立して居る)。
63. 花咲かば報げんと云ひし山里の使は來り馬に鞍置け。
　　鞍置く, saddle.
64. 局長は如何なる程度迄責任を負ふべきものか。
　　局長, the director. 責任を負ふべき, answerable.
65. 彼に對する友人の同情と云ふものが最早望のない迄になくなつた。
　　なくなる, is lost.
66. 明日必ず同伴して參ります。
　　同伴す, bring......with one.
67. それは趣意書を公にするまで必ず秘密にして置かねばならぬ。
　　趣意書, manifesto.
68 充分の資本を持たないで此類の仕事をすると必ず失敗に終る。

　　に終る, ends in.
69. 愚人は幾卷の書を讀むも其愚を減ぜず。
70. 遲くも明日の今時分までには發送する積りです。
　　今時分, this time (or hour).
71. どの道死ぬるのですもの何で死を恐れるものですか。
　　どの道死ぬ, is destined to die sooner or later; death is inevitable. ものですか, should.
72. 學校が放課になつたから校長樣は家に居らつしやるだらう。
73. その危險をクドクドしく警めて置いたぢやないか。
　　警める, warn (of).
74. 彼れは兄の遺言により甥が丁年に達するまで後見人となつた。
　　遺言, will. 丁年に, *preposition* + *noun* より成る *phrase* を用ひて譯すべし.
75. 私は只今の所に永く住で居ますからあの邊の事には精通して居ます。
　　精通する, know to a nicety.
76. 太郎の外は皆息災で居ます太郎は熱病でまだ可けない。
77. 八十好樣はあの教會に切て切れない關係がある。
78. 七合目からこゝまで一息氣に登つたものだから大層つかれました。
　　一息氣に, at a stretch.

79. 僞造をしたり詐僞をやつたりしてやつと烟を立てゝ行た。

僞造, forgery 烟を立てる, keep the pot boiling.

80. 何うしてまた何の目的で其なことをしたか判りません。

81. 全く絶對的に必要なのならばやる。
計畫が全く破れてしまつた。

破れる, is defeated.

82. 彈力の具はる樣に金屬の代りに護謨を用ひたら何うでせう。

彈力の具はる, make it elastic.

83. 何、木から落ちて怪我をしたと、それ見た事か言はないコッチャない。

怪我をした, got hurt. 其れ見た事か, there.

84. 先日の試驗は前から知れて居たのになぜ欠席したのですか。

前から, beforehand.

85. 彼是二十里計りあるから自轉車でも半日で往復は困難だ。

彼是二十里計り, 20 *ri* or so. 往復す, go there and back.

86. 其れまではよかつたが其れから大騷動が起つた。

其れまではよかつたが, so far so good.

87. Aが卒業前になつて大學を退學したと、へーエさうですか。

へーエさうですか, oh! you don't say so!

88. Yは早起きドコロか休日などには十時過迄寢て居ます。

89. 彼の一大短所は折々陰氣になつて幾日もつゞけて口を開かぬにある。

短所, shortcoming. 陰氣になつて, get in the damps. 幾日もつゞけて, for days on end (or together).

90. 私が一月前に行た時には一千二百年前の作だと云ひました。

91. 私はふとした出來心で兩親の許も乞はずに家を飛び出した。

92. あの大勝利の號外が出た時には餘り佳過ぎて信ぜられなかつた。

出る, issue; come out.

93. 何品にても精々廉價に差上げ候間何分御贔負の程願上候。

94. Hは親友に裏切りしてから全く仲間外れにされて仕舞た。

95. 御蔭樣で凌ぎをつけました、何と御禮を申して宜しいやら。

96. 昨夜高等商業學校で英語會があつたさうですがどんなでした。

さうです, I hear; I am told. どんなでした, "how" 又は "what" を用ひて譯すべし.

97. 夙くから見たいと思つて居たのですどうか一寸見せて下さい。

夙くから, long.

98. 首相は職にあること久しからずして衆議院の爲めに彈劾せられたり。

職に, in office. 彈劾する, impeach.

99. 不正手段を以て立身出世したるものは心常に安んぜざる所あらん。

立身出世する, get advancement in life. 心安せざる, ill at ease.

100. 昨日の地震は隨分烈しく床の花筒が倒れて微塵に碎けし程なりき。

床, alcove. 微塵に, in pieces. 碎けし程なりき, "so much so" を用ひて譯すべし.

101. 世間では物好と云ふかも知れないが、僕は命賭けてやつて見る積りだ。

物好と云ふ, call me an adventure-seeker. 命賭けて, at the risk of my life.

102. 斯の如き不德漢は如何に學識あるも教育界より放逐すべきである。

如何に學識あるも, "never" を用ひて譯すべし.

103. 失禮ながら君は餘りに好人物だからいつも御先に使はれるのですよ。

失禮ながら, excuse my unreserved remarks, but. 餘りに, to a fault. 好人物, good-natured.

104. 第十九議會は解散せられたり、時の議長は河野廣中氏なりき。

解散する, dissolve.

105. 余等一行は一直線に森を通りぬけ午後五時頃漸く目的地に達しぬ。

一直線, in a bee-line. 目的地, destination.

106. 遭難者は皆疲せ衰へて生きて居ると云ふよりも死んで居ると云ふ方に近い。

疲せ衰へる, thin.

107. Dは狆を買ひ冠つた事に氣が着かないで滅多にない上種だと云て深く愛して居ます。

狆, spaniel. 買冠る, pay too much. 滅多にない上種, a rare species.

108. 大病で大學病院に居ると云ふことですが彼處で會はれるでせうか。

109. 同僚は如何なる方針を取るかを知らざるも予に於ては斷然辭職せんと欲す。

如何なる方針を取るか, what course... may take.

110. 私が教室に入つた時に一人の生徒が居眠りをして居たが私の足音に目を覺ました。

111. あれは御役人より寧ろ好個の會社員だ殊に內務省などに居ては丸で水を離れた魚だらう。

御役人, government official. 會社員, clerk. 內務省, the Department of Home Affairs.

112. Yは昨日僕の所へ來て滿洲視察談を試みた

ャ盛に吹き立てた事。

吹き立てる, blow his own trumpet; puff it.

113. 智者必ずしも智者ならず。
それぢやあ大酒をするものは皆比較的短命で死ぬかといふに必ずしも然らずである。

それぢやあ，……かと云ふに……然らずである，however, it does not follow that. 比較的, comparatively.

114. それを二等分して見給へ。
同一の敎育を受けた青年二人時を異にして社會に出ると假定せよ。
二人は等しく我學校を出て等しく實業に從事して居る。
幾ら金を積んでも不愉快さ加減は矢張同じことだ。

時を異にして, at different times. 從事する, to engage (in).

115. 斯様な僻村では夜戸を締めないで寢ても何も間違は起らない。

僻村, remote village. 間違, amiss (*adverb*).

116. 凡ての動物の中で人間のみが文字を有て居る。
言語の力を有て居るのは人間のみでない。

言語の力, the faculty of speech.

117. 聯隊長と話をして居る處へ榴彈が一つ飛て來て頭の直ぐ上を越して行きました。

榴彈, shell.

118. 君の名譽に係るかも知れないから出來る限り用心しなければなりません。

用心をする, cautious (*adjective*).

119. 僕の帽子は少し大き過ぎるからこんな風の强い日には吹き飛ばされるか知れない。

吹き飛ばす, blow off.

120. 高からうが何うだらうが一旦買つたからには兎に角代價を拂はねばならぬ。

高からうが何うだらうが, whether dear or not.

兎に角, any way.

121. 願くば御無事漫遊あらんことを、貴君の御健康を祈りて祝盃を擧げます。

願くば……ことを may. 貴君の……擧げます, "here" を用ひて譯すべし.

122. 昨夜上野屛風阪附近の踏切りにて勞働者體の老人上り汽車の爲めに轢殺されたり。

踏切, crossing. 上り汽車, up train. 轢殺す, run over.

123. あの機械は丸る切り働きません、先日の火事で修覆の出來ない様に損じた。

働く, work. 先日の, the late. 損す, is damaged.

124. 囚人は極僅かにせよ改悛の狀が見えたからつまりA牧師の說諭其甲斐ありだ。

極僅かにせよ, be it ever so slight. 狀, the sign.

其甲斐あり, has some effect.

125. 私共の下女は<u>私に聞える處では</u>餘り口をききませんが<u>陰口を利く</u>癖があるさうです。

私に聞える處では, within ear-shot of me; in my hearing. 陰口を利く, backbite.

126. あの人の伎倆はたしかに<u>尋常</u>以上ですが<u>惜しいかな</u>身持が悪い(あまり<u>娯樂をやる</u>).

尋常, the average. 惜しいかな, I am sorry to say. 娯樂をやる, enjoys himself.

127. あれは可なり教育を受けたのだが、其様な位置に<u>据えては役に立つ</u>か何うか疑はしい。

据える, place. 役に立つ, be of any service.

128. 他人の物を<u>奪ふ</u>のは勿論可けない、約束を破て他人の時間を奪ふのも同様に可けない。

奪ふ, rob (of).

129. 其時まで既に三度<u>必死の突貫</u>を試みて三度〔とも〕撃退されたのであつた。

必死の突貫, desperate charge (or rush).

130. 其小片は感じられない程小さい故<u>檢査をする</u>には顯微鏡が要る。

檢査をする, examine.

131. 君の英語がそれ程進んだ以上は<u>教員檢定試驗</u>を受けた方がよからうと思ひます。

教員檢定試驗, the examination for teachers' license.

132. 店の横町の某私立中學校にては近頃學生の退學する

もの夥しく遂に出席者僅々二十餘名に<u>減少せり</u>と云ふ。

減少す, dwindle down; fall off (to).

133. 旅行したことがなく<u>あつてもめつたに</u>出掛け<u>ない</u>者は不二登山と聞いた斗りで<u>尻込みする</u>だらう。

あつてもめつたにない, seldom if ever. 尻込みする, shrink back.

134. あの老人は<u>ツヒ此間</u>まで<u>チョン髷</u>を附けて居た、それ丈けでも<u>保守加減さ</u>が解る。

ツヒ此間, quite recently. チョン髷, top-knot.

保守加減さ, conservative (or bigoted) he is.

135. 彼れは早晩其大任を引けるだらうとは僕も思つて居たが<u>一も二もなく承</u>諾したのは少し<u>意外だ</u>。

一も二もなく, without the least hesitation; without taking any bones about it. 少し意外, rather a surprise.

136. 君は一萬噸以上の軍艦を見たことがありますか、ハイ横須賀で鹿島を見たことがあります。

137. 君は獨立でやらうと思へば<u>十分やつて行け</u>るのになぜ他人に斗り依頼して居るのだらう。

十分やつて行く, do very well.

138. 我H大使は目下露國政府へ<u>交渉中</u>だけれともあの事件は<u>それ丈けて濟み</u>さうもない。

交渉中, in negotiation (with). それ丈けて濟む, rest there.

130. どうか御遠慮なく何なりと御吩咐下さいましあなた

の御用ならば只もう喜んで致します。

御用ならば只もう喜んで, only too glad to be of service (to).

140. 學生が初めて東京に出て來るときには大抵質樸な風采だが二三年の内に中々の「ハイカラ」になります。

質朴な風采, simple in appearance. 中々の「ハイカラ」, quite a dandy (or swell).

141. 本月十六日夕刻小松宮御邸内に御飼養の鶴一羽脫け出で何方へか飛び去りたり。

御飼養の, kept. 脫け出で, escape out (of).

142. 山縣元帥には去る水曜日午前擧行されたる陸軍大學の卒業式に臨み歸途參謀本部へ立ち寄りたり。

陸軍大學, Military College. 歸途, one's way back. 參謀本部, General Staff Office.

143. 老探偵は群集中にその掏兒を認めた、數年前に度々逢つたのみならず話もしたことがあるから。

144. 僕は其樣な仕事には經驗が少ししかない、岡本に至つては恐らくまだ少いか或は全くないだらう。

そんな仕事, that sort of business.

145. 先日鳥取縣の山道にて收稅吏を慘殺して三百圓を奪ひ取りし者あり其犯人は未だ捕縛の運びに至らず。

收稅吏, tax-collector. 其犯人, the murderer.

146. 馬賊は高地に據り彈丸を雨注せしめしが我偵察隊は少しも恐れず遂に其任務を全うするを得たり。

彈丸を雨注せしむ, send a shower of bullets.

少しも恐れず, nothing daunted.

147. 星と菫と戀の歌ばかり作る詩人は最う澤山だ(ありあまる)。

歌を作る, sing of.

148. 私の女は悧巧な人です、婦人にしては變な程悧巧だと迄云ても可いのです。

と迄, go the length of (saying). 變な, abnormal (*adjective*).

149. 吾々三人は皆力自慢な男であつたがTは吾々三人を合せても敵し兼ねる程であつた。

VIII. Conjunctions.

1. 日が差込まない樣に日除を掛けろ。
   日除, awning.
2. 餘りしやべつて聲が嗄れた。
   嗄れる, hoarse (*adjective*).
3. あれは眞白で私のは縞があります。
   縞, striped (*participial adjective*).
4. 直ぐ歸て返すと云ふ約束をしました。
5. では此次の列車に乘らう。
6. あれが我が同胞の一人であるとは。
   同胞, brethren.
7. 嗚呼今一度あれに逢ふことが出來たらネー。
8. 輕氣球は揚るに從つて小さくなつて行た。
9. 君も佐藤と同樣に不都合ぢやないか。
   君も佐藤と同じ程に其に責任がある。
   不都合, blameworthy.
10. 何も間違が起りはしないか見に行た。
    間違が起る, go amiss.
11. 御父子共御留守ですか。
    御父子共御宅に居らつしやらないのですか。
12. あなたも叔父樣と同居して居るでせう。
13. どんなに勉强しても此困難には克てなかつた。
    克つ, surmount.

14. 吾々はまだ君が治るだらうと思つて居ました。
    吾々は迚も駄目だらうと思て居ました。
    吾々はそんな事をするのは以ての外の事だ〔すべきことでない〕と思つて居ました。
15. 貧窮して居たけれども然かも滿足して居た。
16. 明後日の朝までに出來るか聞て來い。
17. 僕は醉て居たけれども要務は忘れなかつた。
    要務, what I was about.
18. 予は國家に盡し且つ家名を揚る爲めに勉學す。
    家名, family name.
19. 生計に追はれざる樣常に職業を勵むべし。
20. 此迄やつた以上はすつかり仕遂げたいものだ。
    やつた, have gone. すつかり仕遂げる, work out; carry it through to the end.
21. 年は若いが我が聯隊内の一番の剛の者だ。
22. 病氣であるか或は北海道に行て居るに相違ない。
23. 此の井戸は深くて釣瓶が上て來るに約五分かゝる。
24. 馬に乘つて步きながら二人は浮世話をした。
    浮世話をする, gossip.
25. 其れが自分の罪でもあるやうに之を聞て泣き出した。
    罪, fault.
26. Aは實力があるから社會に歡迎される。
27. 質問がなければ此議題に就て採決いたします。
28. Aは社會に歡迎されるから實力があるに相違ない。

29. F博士は學識と等しく道德も勝れて居る。
30. 兎に角こゝ迄來た以上は日光を見物したいものだ。
兎に角……以上は, now that
31. 我が海軍の精鋭なるには內外共に一驚を喫したり。
精鋭 efficient and strong.
32. 予は法律家なるも證據より君の言葉を信ずるものなり。
…より……を信ず, "than" を用ふべからず.
33. 際どい時に來た、もう一瞬時遲いと入場を拒絕される所だ。
際どい時, in the nick of time.
34. 多謝したるが故に必ずしも賢明なりと云ふ可らず。
必ずしも, necessarily.
35. 非常に疲れて衣服を着替へるのも行水を遣ふのも厭やでした。
行水を遣ふ, take a bath.
36. たつた今此家を出て行け、左もないと辛い目にあふぞ。
37. それが即ちあの人のする事なす事不成功なる所以だ。
それは即ちある人が何をするにも豫め充分の注意をしないからだ。
する事なす事, everything he undertakes. 豫め(の)注意, precautions.
38. よしや人が馬鹿だ氣狂だと云はうが私は一旦思ひ立

た事はする。
39. どんなに骨を折ても其れが三月や四月で出來るものでない。
40. こんなに長くグツグツして居たのはあなたの罪だ。
グツグツする, tarry.
41. 暴風雨の爲め諸所に出水し被害少からざる由なり。
出水し, the flood have been out. 被害, damage.
42. 世間並から云へば不品行ではないが校長としては不適當だ。
世間並から云へば, as the world goes.
43. 僕が知て居る丈けの處では誰も未だ其事實に氣が付かない。
氣が付く, take notice; become aware of.
44. 私は致しません何故と云ふに忠告があの人に何の効がありますか。
効, good.
45. それを知て居たけれども武士らしく其危險に立向はうと思つた。
らしく, like. 立向ふ, brave.
46. 君は其時初めて僕の此の忠告が好意づくである事を知るに至る。
好意づく, well-meant. 知るに至る, become sensible.
47. 次の文章中に誤あらば之を正せ。
48. 當局者が彌縫を事とする間は國運の興隆は到底望め

ない。

彌縫を事とする，pursue a policy of opportunism.

49. Xは月給を懐中して役所から出ると間もなく高利貸に引留められた。

引きとめる，detain.

50. 學生の平均點六十點に滿たざるときは及第するを得ず。

滿たず，falls below.

51. 嬉さの餘り飯も食べなかつたしそれから又一睡も眠れもしなかつた。

52. Bは何事も半途にして放棄する事たとひありとするも極めて稀なり。

半途にして放棄す，do by halves.

53. 政府は秘密に渉る事を除くの外各議員の質問に答ふべし。

渉る，relate. 秘密に渉る事を除く外，"provided (that)" を用ひて譯すべし.

54. 當選人なき場合には地方長官は更らに選擧を行はしむべし。

當選人，elected person. 更らに撰擧，a new election.

55. Yはいつも頓珍漢な事ばかりして居るが常識があるのか知らん。

頓珍漢，irrelevantly. ……か知らん，I wonder if …… .

56. 六月は概して雨勝にて旅行好には極めて不愉快なる

月なり。

57. 愈よ此度の仕事の最難な處に取懸かるといふ手紙を寄越した。

此度の仕事，the business. 處，part.

58. 單に此の喜ぶべき良感化力に遠かれるが爲めに墮落する青年少からず。

喜ぶべき良感化力，happy influence. 遠かれる，estrange themselves from; are strangers (to).

59. あの人が承知して呉れないといふと何も出來ない。

60. ランプが消えると可くないから障子を締切りました。

締切る，shut up.

61. 有り難いと云ふ一念で彼れは年月のたつに連れ愈よ勉強になつた。

有り難いと云ふ一念，his gratitude. たつ，pass on.

62. 悲歎に沈める母は兒の泣聲に驚きて我に歸り瞬く間に石段を驅け下りたり。

悲歎に沈める，woe-begone. 我に，to her senses.
瞬く間に，quick as thought; quicker than thought.

63. 危險があらうがあるまいが此危急存亡の場合に一刻も猶豫は出來ない。

危險があらうがあるまいが，dangerous or no.
危急存亡の場合，emergency.

64. 君等が僕を「ハイカラ」と思ふのは間違つて居る、僕は君等と同じく『ハイカラ』でない。

同しく, not any more.

65. {あの人よりも君の方が僕を厚過する。
君はあの人よりも僕の方を厚過する。

厚過する, treat kindly.

66. 彼れは驚きの餘り挨拶もせずポカンとして私を見詰めて居ました。

ポカンとして, with open mouth. 挨拶する, salute.

67. 事實を知らなければAとBを兄弟と思ひます實に瓜を二つに割つた樣です。

思ふ, take. 瓜を二つに割つた樣, as like as two peas.

68. Hは少し飲み過ると當り散しながらブラブラ歩き廻る癖があります。

少し飲み過る, drink a little too much; drink a deal more than is good for him. 當り散しながら, as black as thunder.

69. 僕は態と席を外したから其會議がどう片付いたのか御話し申す事は出來ません。

外す, leave. どう片付く, how......go off.

70. 委細は豚兒に御尋の上御承諾の有無何卒同人へ御返事被下度候。

有無, whether or no.

71. 困難は無論大困難ですが、自分は今迄の方針を取て行く事に極めて居ます。

方針, course. 取つて行く, pursue.

72. 今も此等の事變は昨日の如く明かに予の眼前に髣髴す。

73. 氏は自已の云ふ所によれば倫敦着後三日にして發病したるなり。

發病す, is taken ill.

74. 吾々の位置は段々に安全になつた、然かもRの騎兵に兵站線を脅威される恐れが少しあつた。

兵站線, line of communication. 脅威す, threaten.

75. Xはかくして突然所謂紳士となつたが、成り上り者の常として無暗に勿體を附け樣とした。

成り上り者, upstart. 常として, as usual (with); as is the case (with). 勿體を附ける, give himself airs. 無暗に, in season and out of season.

76. 分に安んぜよ、徒らに功名心の奴隷となる勿れ、名聲に至りては之れを獲ると獲ざるとは關する所極めて僅少のみ。

分, lot. 徒らに, useless (*adjective*). 關する所極めて僅少のみ, it matters but little.

77. あの人は形勢の容易ならざる事を知つて居て然かも天成の樂天根性を失はなかつた。

形勢, the situation. 容易ならざること, gravity. 天成の樂天根性, innate optimism.

78. 家の側まで來たら生憎雨がドット降り出してビッショリ濡れた。

ドット降り出す, there comes a sudden shower.

ビッショリ濡る, get wet through.

79. 學生は自己の爲めに專心勉强すべきのみならず、亦その蓄へたる智識を以て他人を益する樣心掛くべし。

專心勉强す, devote himself to study.

80. 此机は二十圓ならば差上げます細工が良う御座いますし其上今時の割にしては廉うございます。

細工, a piece of work. 今時の割にしては, as things go now.

81. 新聞はいつでも內閣瓦解、豫算の大缺陷など云て居るが僕には事實かどうだか一向解らない。

瓦解, dissolution. 豫算, budget. 缺陷, deficit.

82. Aはまだ中學の三年生だが英語にかけては五年生の錚々たるBにたとひ劣るも極めて僅かだ。

かけては, in. 錚々たる, one of the best. たとひ劣るも極めて僅かだ, "if at all" を用ひて譯すべし.

83. 予は山地のみを旅行す、そは海邊に同樣の美景なき爲めに非ず良き飲料水を得るに困難なればなり。

同樣の美景, as picturesque sceneries.

84. Webster を見たり *Standerd* を見たり *Century* を見たりなどしてヤットの事で一節の意味が解りました。

見る, consult. ヤットの事で, until.

85. Reuter 電報に由れば露西亞政府は本月六日の勅令を以て第八軍團の動員令を發布したりと云ふ。

勅令, Imperial Rescript. 軍團, army corps.

發布す, issue.

86. 僕が出京したときは金も希望もなかつたが今では金のないのは依然たりだが希望はない所ではない。

錢なし, penniless. 依然, as......as ever. 所ではない, far from.

87. 事態斯の如くなりしが、城兵は包圍軍の(提出せる)條件に從ふ外如何ともする能はざりき。

事態斯の如くなりしが故に, as matters stood thus; such being the case. 包圍軍, the besiegers.

如何ともする能はざりき, had no choice but.

88. 二丈もある大浪予等の船に向つて突進し來れり、南無三寶呼く間に予等は奈落の底に沈むならん。

南無三寶, Heavens! 奈落の底へ沈む, thrown into the jaws of death.

89. 天皇陛下には昨日午後一時横濱御着停車場に暫時御休憩の間主なる在留外人に謁を賜ひたり。

暫時御休憩, taking a short rest.

90. 暴徒は降參すれば自分達は勿論妻子迄も殺されると云ふことを知て居ましたから斬死しやうと決心しました。

降參すれば殺される, surrender means death.

斬死する, fight to the last.

91. 發狂者若くば酩酊者は入場を許さず斯の如きものにして若し場内にある場合には直ちに退場せしむべし。

入場を許す, admit. 退場せしむ, exclude.

92. 其大鼠は時々臺所へ出て來ますが捕鼠器が遐に止ま

るや否や電光石火の早さで穴に飛び込みます。

捕鼠器, a (rat) trap. 眼に止まる, catch a glimpse of. 電光石火の早さで, with lightening speed.

93. 殿下は御微行中に在しかども御容貌のみならず又御様子さへ事實の如く高貴の御方なる事を露せり。

御微行, incognito. 事實の如く, as was the fact. 露はす, reveal.

94. あなたの御助力を受けなかつたら半途であの計畫を放棄しなければならなかつたでせう。

半途で, abortively.

95. 旦那の御留守中に何誰樣か入らつしやいまして復た晝から伺ふと云て御歸りになりました。

何誰樣か, some gentleman. 伺ふ, call

96. 私はお前の爲るに任せて置いた、と云ふのはお前のした事を知らなかつたと云ふ譯ではない……。

爲すに任せる, let one have one's own way.

97. 暴風が海岸一面に荒れて居まして陸近くに居た一隻の船は或は搖上げられ或は搖下げられ將た難破せん斗りの有樣でした。

搖る, toss. 陸近く居る, at some short distance from the land.

98. けれども悲しいかな彼等の勇氣も其甲斐がない樣に思はれた、何故と云ふに間もなく僅か斗り蓄へた彈藥が大抵盡きましたから。

悲しいかな, alas! 間もなく, it was not long before.

XI. Prepositions.

1. 其れは全く知りません。
其れはよく心づいて居ます。

知らぬ, ignorant. 心づいて, aware (*adjective*).

2. 季節の割合に餘程暖かです。

季節, this season of the year.

3. それが何の役に立つか。

役だつ, good (*adjective*).

4. 明日午後三時に御宅へ伺ひます。

5. 無論私に對して怒つて居るでせう。
之れを聞いて怒つた。

6. 先生の事を惡し樣に云ふなどは論外だ。

惡し樣に云ふ, speak ill. 論, the question.

7. 五十圓以上受取れる故其中から二十圓丈差上げます。

8. 親父樣の遺産で生活して居ます。

遺産, the means bequeathed by his father.

9. 當分叔父の家に居ます、來年になつたら引越すかも知れません、其時は自分丈で一軒持ちます。

引越す, move.

10. まだ風邪が執れません。

執れる, unfit (*adjective*).

11. 其れ以上の事はまだ報知がない。

12. たしかに申せません、あれの親さへ確知しないと云つて居ます。

確知, sure.

13. 勿論苦しい境遇に居るが然しあれは其樣ないやしい事をする人ではない。

苦しい境遇, straits; straitened circumstances.

14. あの巨きい松の枝の廣がつて居る蔭に小家がある。

巨きい, gigantic. 枝の廣がつて居る, spreading branches.

15. 昨日日光より歸宅尊翰拜讀致候。

16. 此拙束御受取次第本人御呼寄せ被下度。

受取, receipt (*noun*).

17. あの方とは知り合て居ません。

18. 此處から停車場までは十丁餘あります。

19. 窓から内を覗いて御覽、珍らしい植木が色々あるよ。

植木, plants. 色々, a great variety.

20. 橋を渡ると左側に大な宿屋があります。

左側, the left-hand side.

21. あんな大金持を叔父に持つたら仕合だと云ふのですか。

云ふ, mean.

22. たゞ父の健康を問ふた許りでした。

問ふ, inquire.

23. それは我が國に取つて餘程の利益だ。

利益, advantage.

24. 港へ到着して自分が今迄非常な誤解をして居た事が分つた。

誤解して, mistaken.

25. 飲用に堪ふる水は地下五十尺の處にあり。

飲用に堪ふる, drinkable.

26. 其內で約三分の一は腐て居ることは殆んど確かだ。

腐て, rotten.

27. 猫の出入の出來る樣に壁に二つ穴が作つてある。

28. 今し方學校を出て家へ歸つて行た。

29. あとのは何うなつたか知りたいものだ。

あとの, the rest.

30. 明日日沒までは到着しないだらう。

31. どうか御仕事を御止め下さるな。

32. 鉛筆をインキへ突き込んではいけない。

突き込む, dip.

33. 明治二十年に此の法律が始めて施行になつた。

法律, code. 施行になる, come into operation.

34. 親の細脛をかぢつて卒業して何がエライか。

細脛, scanty means.

35. 吾々の取るべき道は外にない。

取るべき, open (*adjective*).

36. 必要の場合にはあの人達の助力を求めます。

必要, need. 求める(申込む), apply.

37. 玄關から百歩足らずの處に湖水がある。

歩, paces.

38. あれが御役に立てば私は満足で御座います。

役, service.

39. 一同は狼狽して窓から町へ飛び出した。

狼狽して, in a panic.

40. 二三個月經て一文もなくなつて襤褸を着て家へ歸つて來た。

襤褸, rugs.

41. どう見てもあの人は死んで居る。

42. 一年に二度位來てもよささうなものだ。

43. この水田を通てあの竹籔を拔けて逃れたのだらう。

水田, paddy field. 籔, jungle.

44. 大津も長濱も近江の國に在て湖水に瀕して居る。

45. 熟練と云ふものは只だ實習によつて得られる。

實習, practice.

46. 晩にはいつも來賓がありますから晩でなく朝來て下さい。

來賓, visitors.

47. 他の事は別として其藝には熟れたものだ。

別として, setting aside.

48. この一山の外にまだ貨物を隨分澤山持合せて居ます。

一山, pile. 隨分, quite an assortment

49. それは此の邊で屢々ある事で御座います。

ある事, occurrence.

50. 若し私が家に居なかつたら上て待て(私を)居て下さい。

51. 『實は困り切て居るのだ』と小聲で曰た。

小聲, low voice.

52. 兄は電報を隱袋から出して弟に渡した。

53. 誰でも鯱鉾立して此部屋を二回まはることが出來る人に之をやる。

54. あの三人の車夫は劇しい喧嘩をして二人丈け昨夜出て行つた。

喧嘩をする, quarrel and fight.

55. 誰か玄關へ來て居る樣だ伊藤樣なら御通し申せ。

56. 大困難をして且つ信用を賭して爲遂げた仕事だ。

信用, my credit. 爲遂げる, accomplish; achieve; perform.

57. 君は終夜庭の中を彼方此方と歩いて居たらう。

58. 昨夜あれから手紙を受取りましたが其樣子で見ると何でも餘程忙しく苦しさうです。

見ると何でも……さうです, I understand.

59. 二人の所在は今以てサッパリ判らない。

所在, whereabouts (*noun*).

60. 君の樣な大男が彼處を通て人の氣の注かないと云ふ事があるものか。

氣がつく, notice.

61. お使に行たのですから半時もすれば歸て來ます。

使, errand.

62. これは政府のすべき仕事でないといふ理由で反對論を唱へた。

理由, ground.

63. 當時官軍は江戸をさして進軍中でした。

進軍, march (*noun*).

64. 目下建造中の二艘の驅逐艇は遲くも年末までには竣工する。

建造, construction. 驅逐艇, destroyer. 竣工せしむ, complete.

65. 大體に於て常陸山が勝ちであつた。

大體, the whole.

66. 身なりはよいが印半纏連の樣な物言をするし容子がまた何處か下品な所がある。

よい, respectable (*adjective*).

印半纏連, those who wear *shirushi-banten*; labourer.

67. 大通を取て行たのならばまだ日本橋へは着いて居ないだらう。

取て行く, keep (to).

68. お前を夜一人で出すことは厭やだ。

69. その横町の突當りを左へまがり給へ。

突當り, end.

70. 正道を守て斷然其れを行ふべしだ。

正道, justice. 斷然, decisive (*adjective*).

71. 四時までまだ十分か其處いらある故其樣に急ぐに及

ばない。

72. これつ切りのお話——極内々のお話——ですが伊東老人の快復は望がないさうです。

極, strictly. 快復, recovery.

73. 夕方になつて空が晴れ上て富士山は頂から麓まで現はれた。

晴れ上る, clear up.

74. 今は萬事が會長の意見次第だ。

85. 前の土曜日以來書齋に閉籠て居ます。

閉籠める, confine.

76. あらかじめあらゆる用心をして置いたに拘らず失敗した。

豫め(の)用心, precaution.

77. あの人の行狀は仲々以て申分なしとは云へない。

申分なし, irreproachable.

78. 人口一萬人から二萬人までの都會が縣下に四つある。

縣, prefecture.

79. あの人は出京すると宿屋で三四日暮して其間朝から晩まで醉て居る。

80. 君の留守中はお望ならば君の代理をしませう。

代理をする, act.

81. 人間のエライ所は皆な勞働によつて〔生じ〕來る。

82. 然し勞働の苦を受けずして(なくして)其結果を占めやうと力めるのは人間に自然の事である。

勞働の苦, its toils. 占む, enjoy. 自然の事, natural.

83. 先生は亡くなるまで失望せず自力を恃んで居て無名窮乏の裡に永眠した。

失望せず, hoping. 無名, obscurity.

84. 人間社會の不德といふものは大概薄志に基く、語をかへて云へば勇猛心の欠乏に基因する。

不德, evil. 薄志, weakness of purpose. 欠乏, lack.

85. あの鼠は窓の穴から這入たのだらう。

86 早速小包郵便にて御送附を乞ふ。

小包郵便, parcel post.

87. 氣を注け給へ、君の頭のつひ上にランプがブラ下がつて居るよ。

氣をつけよ, look sharp.

88. 此部屋は大概支那から來た骨董品で一杯だ。

骨董品, curios.

89. 玉の汗が兩頰を流れ下るのでハンケチを隱袋から出して顏を拭た。

拭ふ, mop.

90. 君も君の兄も其れに對して何の權利もない。

91. 之れを聞くと齊く自分は飛立て一擊して彼を倒した。

92. あの人は小供の頃に餘程の策士であつた。

策士, politician.

93. 自分は如何といふに成功が最う極確實だといふ考で得意になつて居た。

確實, certain. 得意, elated.

94. 僕は彼奴が大事を成す氣量があるとは思はない。

氣量がある, capable.

95. 吾々は一生懸命に河を漕ぎ上た。

一生懸命, dear life.

96. 海へ釣に出る時は舟を日借りします。

97. 來月の一日から毎日神戶行の急行列車が日に八回出ます。

急行, express. 出る, is run.

98. 日が暮れてからは家に居ない、神田の夜學校へ行くから。

99. 今日に至るまで其本堂は立て居る。

本堂, main building.

100. 此の類の社會的弊害に就てはまだ治療の法がない。

弊害, evils. 治療の法, remedy.

101. 女中らしい女が二三歲になる小兒を抱いて門前に立て居た。

102. 私は只も同様で買ひました、一つ三十錢つゞで。

103. 今其を搜して居る所だ、お前昨夜使つた時に例の通り抽出に入れなかつたのだらう。

104. お明きになりましたなら一寸拜見。

105. 三十にもなつた男がよくも其様な馬鹿げた業が出來るものだ。

馬鹿げた業をする, act foolishly.

106. 之に妨げられて散步にも出られない事が屢々ありま

す。

妨げる, hinder; obstruct.

107. あの人が鉢卷をして箒を持て踊る處を見て居ると閻魔樣でも笑はずには居られないだらう。

108. 橋の向側に三階建の西洋館があります。

109. 昨今は(今)破産に瀕する〔と云ふ〕情態に陥て居るさうです。

破產, bankruptcy. 瀕す, border; verge.

110. あなたはお國の事(お國に於て進行中の事)にあまり興味を有て(取る)居ますまい。

お國, your native place.

111. 只今では地圖はなくてもすみます。

112. 幾度も賛成の演説をして置いて反對の投票をするとは奇怪千萬だ。

113. その仲間に這入りたければ電話で至急申込み給へ。

仲間, party.

114. 此島へも東京や大阪のえらい淨琉璃語が絶へず渡て來ます。

淨琉璃語, *Joruri*-singers.

115. 君の快樂を與へることが僕には苦痛になることもある。

116. 岡村樣に於て家賃をお納めにならなかつたら如何なさいますか。

お納めにならなかつたら, non-payment.

117. 支配人に理屈を云ても不平を訴へても駄目だ。

支配人, manager. 理屈を言ふ, reason. 不平を訴へる, complain.

118. 日本人は當時一種の劣等動物の樣に見下げられて居た。

劣等, inferior. 見下げる, look down.

119. 此の點は日本人と英人が親族位似て居る。

親族位似る, family resemblance (*noun*).

120. 市街鐵道問題に就て一場の演説を願ひたいものですが。

市街鐵道問題, city-tramway problem.

121. 日本の海軍には何ダス否な何百と云ふ Hobson が居る。

122. 其電報を受取りまして私は胸が清々して散步に出掛けました。

清々した胸, a light-heart.

123. 吾々は犬の樣に四つ這になつて斷崖の下を二三丁進んだ。

斷崖, cliff.

124. 言ふまでもなく是れは双方の合意でした離婚だ

双方の, mutual. 合意, consent; agreement.

125. 其の頑固連の褊狹なことは意想外です。

頑固連, beigots. 褊狹(なこと), intolerance; narrow-mindedness. 意想, conception.

126. 彼等の祖先は過ぎつる年(日)信仰の自由の爲め血を流したり。

信仰, conscience, 流す, shed.

127. 眞理の捜討人類の改善に最も功勞の大なるものゝ一人なり。

捜討, search. 改善, amelioration.

128. 舞臺には相川から出た鑛石のを見た樣キラキラ光る君が三四人見えるのみだが幕の陰には傀儡師が澤山居る。

キラキラ光る, glitter. 君, gentlemen. 幕, curtain.
傀儡師, wire-puller.

129. 當時の支那人には是は尋常一樣の事であつた。

130 家の直ぐ外に魚の澤山居る池があつて窓から釣ることが出來る。

澤山居る, abound.

131. Sの爲めにした盡力の御禮に貰つた金と親戚から借りたのを合せて二三百圓此處に持合せて居る。

盡力, service. 御禮, remuneration.

132. 否を金の爲に賣る議員共が之に反對して騒がうとも其は仔細のない事だ。

騒ぐ, grow boisterous. 仔細, consequence.

133. 手當次第に讀書をすると云ふことはあまり効がない。

134. 天がかゝる財界の恐慌を降して(從つて)我が同胞の輕佻と不用意を罰し給ふたのだと見て居ます。

財界の恐慌, financial crisis. 輕佻, fickleness.
不用意, improvidence. 見て居ます, I understand.

135. 基督教徒の中にも神樣は己れ等を世話するより外に

仕事がないと思て居る人が澤山ある。

仕事がない, has nothing to do.

136. 主人は何か急用があつて一番汽車で靜岡迄參りました、明日正午には歸宅の見込みです。

急用, urgent business. 見込です, expect.

137. 候補生は其を終ると下士としての訓練を一通やらせられる。

訓練, training. 一通, a course.

138. 悲運にめげず困難にもひるまず一歩一歩前進して行た。

悲運, adversity. めげる, dismayed. ひるむ, daunted. 進む, push.

139. さりながら彼奴の金慾は馬慾ほどに甚だしくない。

慾, love; passion.

140. その人は年は三十足らずで顏の晴々として微笑を帶んだ額の悧發らしい青年で非常に頓才のある愛相のよい活氣の滿々たる人であつた。

晴々とした, bright. 悧發らしい, intelligent.
頓才ある, witty. 活氣, life.

141. 境界を越し來る商品には悉く三割の税を課す。

境界, frontier. 越し來る, crossing. 課す, impose.

142. 此の地方の韓人は在昔百餘年間日本に服從せしも其心は純然たる韓的にして毫も變する所なかりき。

服從, subject (*adjective*). 純然たる, purely (*adverb*)
毫も, the least (*adjective*).

143. 此の世の中に一として専心な忍耐力ある人の手の届かないものはない。

専心なる, one-minded.

144. 此の近所の厄介漢を頗る外交的な方法で追拂つた。

近所の厄介漢, troublesome neighbour. 外交的なる方法, diplomatic process.

146. 叔父としての義務を盡すと云ふ至極體のよい口實の下に二人の孤を連れて歸た。

體のよい, plausible. 口實, pretext.

147. 此の光景に初めは愕き後は激怒し如何にもして加害者に復讎せんと互に申合はせた。

光景, sight. 激怒, furious. 加害者, the murderer. 互に申合す, resolve.

148. 盲目滅法に群聚の中へ撃込むな、一時に一人を撰んで夫れを狙へ。

群聚, the mass. 撰んで, pick out. 狙へ, aim.

149. 其中には三十歳以上の人もあるが大多數は天才もなく俗界の經驗もなく金もない青年書生であつた。

大多數, the great majority. 俗界の, worldly.

150. 朝は早く出て晩は晩く歸つて來ます宅には寢る爲めに七八時間居る許りです。

151. 橋から遙かの川下に小舟が一艘見える故行て見たら底に穴があつて水が一杯に滿ちてたので當がはづれた。

當がはづれる, is disappointed (*verb*; disappointment (*noun*).

152. 是れは私のと厚みが同じだが大さの割合に餘程重い。

厚み, thickness. 大さ, size.

153. 今朝私の乘て居た電車で五人まで財布や時計を掏兒に取られました。

掏兒, cut-purse; pick-pocket.

154. 併し少しく快氣に向ひ候間一週間も相過候はゞ執務相叶可申と存候。

執る, attend. 存候, I hope.

155. 馬か人力車で行く方が帆船で行くより時間がかゝらない。

馬, horse-back.

156. 吾々の學校が文部省の直轄になるのも近き將來だらう。

文部省, the Department of Education. 直轄, the direct control.

157. 太い杖の助でやつと歩く事が出來た。

やつと, "difficulty" を用ひて譯すべし.

158. あんなに腕力のある癖にして情ない程勇氣を欠いて居る。

腕力, physical strength. 情ない, deplorably.

159. 機略がないものだ故始終他人の後に落ちる。

機略, tact. 落ちる, fall.

160. 八兵衛は商賣が鍛冶屋で又其の地方に一人しかない鍛冶屋だつた故近隣の人が常に鍛冶屋と云ふ名で呼んで居

た。

商賣, trade. 鍛冶屋, blacksmith.

161. プラットフォームの萬歳の狂呼の中に汽車は三千の關東健兒を載せて出て行た。

狂呼, enthusiastic shouts. 健兒, brave sons.

162. 此れは吾々の取る唯一の途だ、他に之に代ふべき方法はない。

取る, open. 代ふべき方法, alternative.

163. まだ昨日の事だが此の隣の横町に居る何とか云ふ高利貸に二千圓借りたのださうだ。

まだ, but. 横町, lane.

164. 見本は御申越あり次第郵送可仕候但し郵税を要せず。

御申越あり次第. on application. 見本. sample.

165. 明朝は晩くも六時十五分前に出懸けなければ遲刻になるだらう。

166. 僕は東洋銀行から九分の利で其の金を借りました。

九分の利, nine percent interest.

167. 苟もそれを現實にしたいと思ふならば本氣にやらなければならん。

現實にする, realise.

168. 君の持て來て吳れた品は何れもよく出來て居て何れとも決し難い。

決す, decide.

169. 僕に心づかずして君は傍を通り過ぎて行た、思案に

心を吸はれて居たのだらう。

心づく, notice. 思案, meditation. 吸ふ, absorb.

170. 年齡の割合に大いが併し君のいふ仕事はあれには荷が重すぎると思ふ。

大きい, well-grown. 荷が重い, much.

171. 佐藤は伊藤の家の一軒を隔てゝ隣りに住んて居る、伊藤の家は角から多分四軒目だつたらう。

一軒を隔てゝ隣り, the next house but one.

角, corner.

172. 金がなくて困て居るならば百圓や二百圓は融通してもよいと云て下さい。

困て, an awkward position. 融通す, advance.

173. 佐竹君は手紙で三四日間午前の仕事を御免を蒙りたいといつて賴んで來た。

御免を蒙りたいといつて賴む, ask to be excused.

174. あの人が官立學校に位置を得るといふ事は十に一の望があるのみだ。

175. 叔父さんが餞別に十圓吳れたのを一日に使ひ果した。

餞別, farewell present.

176. 本月十二日下谷萬年町に虎列剌新患者發生せし由なり。

新患者, a fresh case (of). 發生す(報告せらる), is reported.

177. 露國內務大臣 Plewe 氏は首府の停車場に於て爆裂

彈を投ぜられ重傷を負ひたり、犯人は即座に縛につきたり。

爆裂彈を投す, bomb (*verb*).

178. 魁新聞社は本月三日の夜九時頃一群の壯士の爲めに破壞せられたり。

一群, a gang (of).

179. 入學願書は必ず本月末日迄に差出すべし。

入學願書, the application for admission. 差出す, send in.

180. 本年は豐作の爲め米價は昨年に比して一割五合方廉なり。

豐作, prolific. 比して, as compared (with).

181. 昨夕日沒後間もなく兩國橋附近で五歲計りの小兒が本所行の電車の爲めに轢殺された。

行き, for; bound for. 轢殺す, run over.

182. 過日來 influenza にかゝり臥床中の本縣知事はやゝ快方に向はれし由なり。

快方に向ふ, is getting better.

183. 本日午前十時の病床日誌によれば桂伯の病氣は快復の見込十分なり。

病床日誌, bulletin. 見込十分, steady hope.

184. 僕は一昨夜突然嘔吐を初めましたが、惡疫流行の際ですから家族共が大に狼狽しました。

嘔吐, vomitting. 流行, prevalent; prevailing.

狼狽, t [illegible]shed.

185. 巴屋へ長靴を二足注文した。

注文する, order.

186. 日本政府は英國の某會社へ排水二萬噸以上の一大戰鬪艦製造を注文したり。

排水, displacement. 製造, construction. 注文す, place orders on the hands of.

187. 昨日新橋發の最終列車は神奈川附近にて貨車と衝突し乘客中數名負傷したり。

貨車, luggage van. 衝突す, collide (with); come into collision.

188. 旅順總攻擊に先立ち乃木大將は『ステッセル』將軍に開城勸誘の特使を派遣したり。

先立ち, prior. 開城を勸誘す, invite surrender.

189. 無線電信發明以來軍用傳書鳩の使用を廢したり。

無線電信, wirless telegraphy. 軍用傳書鳩, homing (or carrier) pigeons on war service.

190. M氏は高等商業學校卒業後間もなく外交官補を拜命したり。

外交官補, attache of Legation.

191. X炭坑の礦夫百名計り同盟罷工を行ひ其中暴行者數名は警官に捕縛せられたり。

同盟罷工を行ふ, go on strike.

192. 大海伯の日本に於ける戰後財政意見は歐米財政家の稱讚を博せり。

戰後財政, *post bellum* finance. 稱讚す, appreciate.

193. 賜暇歸朝中の白木子は昨日正午參內謁見の榮を賜

りたり。

参內, proceed to the Imperial Palace. 賜暇, leave of absence. 謁見の榮を賜ふ, is received in audience by the Emperor.

194. 朝日新聞主催の下に二百名斗りの學生一行は去る月曜日未明新橋發の汽車にて滿韓巡遊の途に上りたり。

主催, scheme initiated. 巡遊, tour round.

195. 近日御入京あるべき貴賓の爲め市中の要所に大緑門建設の筈なり。

貴賓の爲め. in honour of the royal guest.
要所, important points.

196. Xの樣に朝寢好では業を失ふのは當り前です。

朝寢, sleep late in the morning. 失ふ, thrown out of.

197. 高島嘉衛門氏は健康勝れざる故を以て實業界を退きたり。

健康勝れざる故を以て, through; owing to; on account of. 實業界, business world.

198. 正則英語學校にては中等敎員の位置志望者の爲めに高等英文科を設置したり。

中等敎員, middle-school teachers. の爲め, for the benefit of....... 設置したり, has prepared (or inaugurated).

199. 賣子はあらん限りの大聲にて號外號外と叫びながら予等の側を通り過ぎたり。

賣子, news-boy.

200. 西園寺首相は目下日光の御用邸に御滯在中の皇孫殿下の御機嫌伺ひの爲め昨日一番汽車にて上野を出發したり。

御機嫌を伺ふ, enquire after the health. 皇孫殿下, H. I. H. the Imperial Grandson.

201. 去る二日御前會議の結果小村外相は栗野公使をして日本の決意を露國政府に通牒せしめたり。

御前會議, the conference before the Throne.
通牒す, apprise.

202. 遞信参事官福島氏は郵便事務取調に關し米國へ出張を命ぜられたり。

取調, investigations. 出張を命ず, order to go.

203. 明夜晴天ならば(雨天ならざれば)芝浦にて數種の仕掛花火を打ち揚ぐる由なり。

仕掛け, elaborate. 打揚ぐ(見せる), display.

204. 早稲田大學にては來月一日學校附屬の運動場に於て野球會を催すべし。

附屬, attached to. 野球會, base-ball matches.

205. X代議士は上京の途次日光を見物し中禪寺 Hotel に一泊せり。

途次, on his way to. 一泊す, put up.

206. S氏の英作文會話字書は正確なる實用英語を修めんとするものゝ爲めには欠くべからざる寶典なり。

する, desirous of. 欠くべからざる寶典, indispen-

sable thesaurus.

207. あの事件に就ては未だ何等の沙汰(報告)もないが一體全體Yは何をして居るのだらう。

一體全體, after all.

208. 東西兩本願寺に於て近々日露戰後戰死者の爲めに大法會を營むべしと云ふ。

近々, before long; in near future; at no distant date. 大法會, great religious services.

209. 有名なる投機商 Y 氏は詐僞取財の廉にて告發せられたり。

詐僞取財の廉, a charge of fraudulous possession of property.

210. 第二艦隊は海峽に向ひて驀進し短距離にて敵艦を砲擊したり。

短距離, at short range. 驀進す, rush.

211. 玉川製糸會社の女工一同は賃錢の增額を乞ひ稍不穩の態度を取れり。

乞ひ, ask for. 不穩の態度を取る, assume an unamicable attitude

212. 陛下には楠正成を祀れる湊川神社へ勅使を派遣し正三位を贈り給へり。

を祀れる, dedicate to. 正三位, the Senior Third Rank. 贈り給へり, has been pleased to confer the posthumous honour (of).

213. K文相は神經衰弱の故を以て願により辭職御聽許相

成りたり。

神經衰弱, nervous prostration. 願により, at his own request. 御聽許, release; relieve.

214. 是迄は職務を全うしたが來月の總選擧が心配になります。

是迄は, up to the present. 總, general. 心配, concern (*noun*).

215. 我陸海軍は常備軍、後備軍、補充兵、及び國民軍より成る。

後備軍, landwehr. 補充兵, depot. 國民軍, landsturm. より成る, consist of.

216. 身分不相應の望を抱くと必ず一生を不平の中に送る様になります。

身分不相應, above one's social position.

217. 一見馬鹿としか思はれんがどうして中々の人物だ。

としか, can be anything but. どうして, on the contrary.

218. Nは久しく肺病に罹つて居るが實に骨と皮ばかりて生きて居ると云ふのみだ。

罹る, suffer. 生きて居ると云ふのみ, all but dead.

219. 昨夜の火事は近年稀なる大火にして燒失せし戸數は千を以て數ふる程なり。

220. 精勵勤勉て遂に年期小僧より支配人とまで仕上げた。

精勵勤勉て, hard application. 仕上る, raise

himself.

221. あの大工は金がないのに働かない實に先天的の怠惰者だ。

のに, in spite of. 先天的, born (*adjective*).

222. 君は歐洲通を以て自ら許して居るが一寸見た斗りて佛人と西班牙人の區別が云へるか。

歐洲通, expert of things European. 一寸見た斗りて, at a glance.

223. あの談判に付ての機略で山川伯が大政治家だと云ふ事に始めて氣がつきました。

氣がつく, recognize. 機略, tact.

224. 都なれぬらしい五十歲斗りの男が「上野へはどう參りますか」と叮嚀に巡査に尋ねた。

なれぬ, a stranger to. 尋ねる, ask; inquire of.

225. Kの如き氣象の人にしてかの憐むべき親戚を冷遇するは怪むに堪へたり。

Kの如き氣象の人, a person of K's character.

冷遇する, turn a cold shoulder.

226. 國家の爲めに身を犧牲に供するは臣民の義務なり。

227. 目に一丁字なきものにして且つ然り況んや最高の教育を受けしものに於てをや。

一丁字なきもの, utterly illiterate person. 況んや, how much more so.

228. 予が客車より立出るや出迎の爲め集まりし人々は予が爲めに萬歲を三唱したり。

三唱したり, gave three cheers.

229. 本年の高等商業學校入學試驗には合格者一に對し不合格者五の割合なりと云ふ。

に對し, against. 合格者, those who have passed.

230. そこに箸が附いて居るではないか、なぜ手づかみて喰ふのだ。

手づかみて喰ふ, eat with one's fingers.

231. Aは遊技は何でも上手だが學問と來たら正反對だ。

上手, good (hand) at. 正反對, just the reverse.

232. B君久し振りですね一杯やりながら懷舊談を試みませう。

233. 四五月は暑くも寒くもなく旅行には至極適當な月です。

234. 私共が此の知らぬ土地へ來まして間もなく杖とも柱とも賴む伜を失ひ一時は實に途方に暮れました。

此知らぬ, this strange. 杖とも柱とも賴む, my only staff.

235. A孃は未だ世間を知りませんから一人で行く事を厭がつて居ます。

世間を知らぬ, ignorant; unacquainted.

236. 美麗なる繪葉書御惠投下され難有該品は拜見致すのみにても結構なる位に御座候。

拜見致すのみにても結構なる位, really a treat just to look at.

237. 久しく御無沙汰に打ち過ぎ誠に申譯無之候。

御無沙汰, remiss in calling.

238. 例の狡猾漢は答案を書く振りをしながらチョイチョイと小さい紙片に眼を注ぎました。

チョイチョイと眼を注ぐ, cast sly glances from time to time.

239. 眼前には不二山あり脚下には蘆の湖あり風景の美到底筆紙の及ぶ所にあらず。

筆紙の及ぶ所にあらず, surpass all description.

240. 首府に押寄せんとする間際に陰謀が露見した。

押寄する, move on. 間際, on the point (of).

241. 其酔漢はいきなり拳を振り上げて打つて掛つたが僕は體を交して其奴の向脛を蹴飛ばして呉れた。

體を交す, dodge. 向脛, shin.

242. 學年は四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る、毎學期を分ちて三學期とす。

學年, academic year. 學期, term.

243. 彼の野心は早く既に其時に萌したりと云ふも不可なし。

244. 果して此事あらば宜しく特別委員を設け時日を期して調査せしむべし。

特別委員, special committee. 時日を期して, upon a special day.

245. Y博士は學問に夢中になつて徹夜する事が度々あるさうです。

夢中になる, absorbed in.

246. Sは左が跛だのにどうして體格試驗に合格したらう。

體格試驗, physical examination.

247. 私は力一杯引張つて居ましたが突然繩が切れたので思はず尻餅を搗きました。

力一杯, with main force. 尻餅を搗く, fall in a sitting posture.

248. 名古屋にては水道竣工の爲め六百萬圓の外債募集を計畫中なり。

水道, water works. 外債募集, raise a foreign loan.

249. 近頃の暴風雨にて臺灣安平の港口長さ三百間斗り流沙の爲に閉塞せられたり。

安平の港口, the entrance to the harbour of Anping. 閉塞する, block.

250. 内務大臣は三會社の請願を容れ電車賃錢三錢を四錢に値上げの許可を與へたり。

請願を容れ許可を與へたり, granted the petition (of).

251. 十八年間一日の如く盲啞教育事業の爲めに盡したる山井氏は先頃死去されたりといふ、實に惜むべき事なり。

盲啞教育事業の爲めに盡す, work hard for the cause of education of the blind and the dumb.

實に惜むべき事なり, we heartily lament; it is lamentable.

252. 日本銀行の報告によれば先月中の諸物價は其前月に比し四分方騰貴の由なり。

日本銀行, the Bank of Japan. 其前月の, the preceding month. 四分方騰貴す, rise by 4 percent.

253. 小役人の傲慢なるは孔雀の羽翮を粧ふ鳥にも譬ふべし。

孔雀の羽翮を粧ふ鳥, jacks in peacocks feather.

254. 日本勸業銀行副總裁S氏は明日午後汽船安藝丸にて横濱解纜米國を經て歐州漫遊の途に登る由なり。

日本勸業銀行, the Japan Hypothec Bank.
副總裁, Vice-President. 經て, via.

255. 理想團は去る十三日午後劇場市村座に於て演說會を開き聽衆二千餘名に及びたり。

256. 陸海軍兩省にては日露戰勝紀念の爲め凱旋門若くば凱旋塔建設の計劃中なり。

紀念の爲め, in commemoration (of). 建設する, erect.

257. 昨十五日拂曉神戶發上り列車第十二號は「ポインツマン」の過失により東海道線大高驛に於て貨車と衝突し其結果破損車十輛負傷者廿五名を出したり。

.....の拂曉, early on the morning (of). 其結果, in consequence. 破損車拾輛負傷者廿五名を出したり, ten cars were damaged and twenty-five passengers hurt.

258. 過日大學教授T氏は總武線汽車中にて金時計を窃取

せられたり。

竊取する, rob of.

259. それより二三日を經て本所警察署へ小包一個屆きたるを以て開き見しに該時計なりしかば直に持主に返附せられたり。

返附する, restore.

260. 十三歲より十九歲までの支那人四名橫濱山手百二十七番館に放火したる嫌疑により伊勢崎町署の手にて拘引せられたり。

山手, Bluff. 放火したる嫌疑により, on a suspicion of setting fire (to).

261. 前記の支那人は火災中の混雜に紛れ何か竊取せんとの目的を以て放火せし由を自白したり。

混雜に紛れ, in the confusion.

262. 去る土曜日の好天氣に帝國大學の春季短艇競漕會は隅田川上流に於て擧行せられたり。

好天氣, capital weather. 上流, upper stream.

263. 露見の恐れがあるから土中に埋藏した。

露見, detection.

264. あの人は才子には相違ないが何となく人好がしない。

何となく, something…about.

365. 難解の語句に出會ふ毎に必ず字書を見るべし、決して等閑に附すべからず。

難解, hard to understand. 出會ふ, come across.

見る, consult. 等閑に附す, pass with indifference; make light of.

266. 私は辨解の積りでさう云たのだがそれが却て先方の氣に障つたのだから致し方がない。

辨解の積りで, by way of excuse. 致し方がない, it can't be helped.

267. 弱肉強食を制せんことは封建制度の下には殆んど不可能なり。

弱肉強食, the stronger preying on the weaker.

268. 予等一行は定刻に至り港務局備附の小蒸氣船に乘込み港外に碇泊中の鹿島艦に向ひ進行したり。

定刻, appointed hour. 港務局備附の小蒸氣船, launch kept by the Harbour-Master's office.

外, off. 碇泊, at anchor.

269. 故兒玉大將は逝去の前夜寢につかるゝ際には常に變りし樣子なかりしが腦溢血の爲め突然永眠せられたるなり。

常に變りし樣子なき, in the same condition as usual. 腦溢血, suffusion of blood on the brain.

270. 文部省にては近々諸官立學校の教授助教授數名に留學の目的を以て洋行を命ずる由なり。

助, assistant. 留學の目的を以て, for the purpose of prosecuting their studies.

271. 秘書官A氏は大臣の理想通りの人間だから乾度外のものより早く出世しませう。

理想通りの, after one's own heart. 出世する, get on.

272. お客様の來着の用意に火を焚いて置け。

焚いて置く, make fire.

273. 二千余名の志願者中入學を許可されしもの僅かに百五十名に過ぎず候而して迂生の其數に入るを得たるは至幸に御座候。

志願者, candidates. 入學を許可する, admit.

迂生の其數に入るを得たるは, I myself among the rest (or number).

274. 日露戰爭後所謂列强は何事にも我國に讓步の傾向あり。

讓步の傾向, tendency to give way before.

275. Bの親父はもと二本差した人だから商人と緣組するのは武士に不似合と思て居るらしい。

緣組する, contract a marriage (with).

276. 私の力に及びませんから袖手傍觀して居ました。

袖手傍觀する, look on with folded hands.

277. 私は子供が生れる度毎に其兒の教育の準備として每月二圓づゝ貯蓄する事に極めて居ます。

其兒の教育の準備をする, provide for its education.

極めて居る, make a point of.

178. 專制政府の下に立つ人民は孩兒の母を慕ふが如く自由を熱望す。

慕ふ, pine (for).

279. Nは數學の質がよいから余り勉強しないでも何時も滿點を取る。

質がよい, has an aptitude (or turn) (for).

280. 彼れは先非を悔ゐて自白せしにはあらず拷問を恐れてなり。

後悔, remorse. 拷問, torture.

281. Bは大學を出たばかりで世間見ずだからあんなに氣焔が高いのだ。

出たばかり, fresh from. 氣焔, spirits.

282. 其塀は弱いから重いものを立掛けてはいけません。

立ち掛ける, set up.

283. 昨夜は宅の前で犬が烈しく吠えましたので遲く迄眠れませんでした。

284. 君が助力して呉れなかつたなら僕は疾うの昔に破產して居たことだらう。

疾うの昔に, a long time ago. なかつたら, *double preposition* を用ひて譯すべし.

285. 此川には魚が澤山居ますが容易には釣れません。

澤山居る, abound. 釣る, catch with a hook and line.

286. 私は每年七月の初めに田舍へ行て八月末までに都へ歸ります。

287. I. M. 兩氏は傷病者救護資金の中へ金一萬圓宛寄附せられたり。

救護資金, relief funds. 宛, each. 寄附, donation.

288. 若い內は殊によい友を選ばないと惡い方へ引き入れられ易い。

惡い方へ引き入れる, seduce into error.

289. 竹の外皮は薄く削りて伏せ籠、鳥籠、筌等を作るに用ふ。

外皮, outer rind. 削る, shave. 伏せ籠, fen-coops. 筌, fish traps.

290. 醫者の勸告で禁酒禁煙しました。

禁ずる, abstain.

291. A. B. の兩伯は久しく意見を同じくせしが遂に此度相携へて政海に入るに至れり。

相携へて, go hand in hand.

292. 吾人は福地源一郎氏の訃音に接したるを悲しむ、櫻痴居士の雅號を以て世間に熟知せられたる氏は本月四日午前二時六十六才を一期として肺病にて死去せられたり。

訃音に接す, the death is announced (of).

雅號, *nom de plume*; *nom de guerre*; pen-name.

世間, the public. 一期, the age of.

293. 荊妻儀昨夜男子分娩幸に母子共至極壯健に御座候。

分娩する, give birth. 壯健, do well.

294. 四分五厘利附日本勸業銀行債券第卅回額面百五十萬圓本月廿日發行來月十五日締切の由なり。

年 .. 利附, with..... interest. 債券, debenture.

額面, value. 締切る, close.

295. 其際の東郷大將の行爲は謙讓の一美談として後世に

傳ふるに足る。

其際の, on that occasion. 一美談, fair example.

後世に傳ふ, hand down to posterity.

296. 數哩の間道路が鐵道に沿ふて居る。

297. 當分の內は萬事をあの儘に放棄して置くがよいかと思ひます。

あの儘に, as they are.

298. 許可を得ずして彼の作業に欠席したのは不都合至極だ。

作業, work.

299. 良家の娘だけあつてしとやかで加之藝が具はつて居る、つまり種々の美質が醜貌を補つて居ます。

藝が具はる, accomplished. 美質, good qualities.

補ふ, make up for.

300. 生れがよいから放免せられるだらう抔と想て居るならば大間違ひだ。

放免す, acquit.

301. 自分はあまりの嬉しさと期望に吾を忘れて居た。

吾, myself.

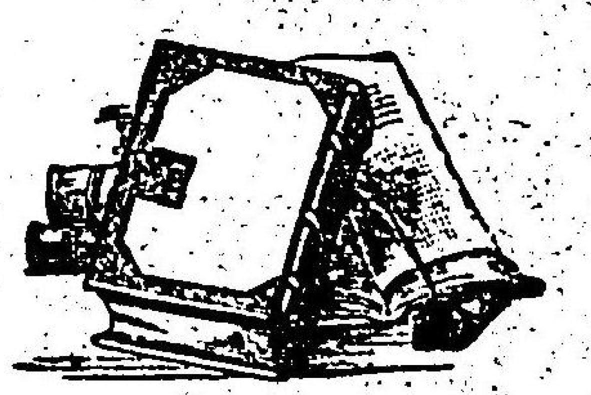
(THE END)

明治四十年一月十五日印刷
明治四十年一月二十日發行

所有著作權

著作者 東京市 宮井安吉
著作者 東京市牛込區大久保余丁町 番地 川勝鍊吉郎
發行者 東京市本郷區本郷六丁目二十三番地 原田純一
印刷者 東京市京橋區岡崎町二丁目二十五番地 遠藤銓吉
印刷所 東京市京橋區岡崎町二丁目二十五番地 六合舍

發行所
本郷區本郷六丁目 岡崎屋書店
神田區雉子町 合資會社 岡崎屋書店



特27
899

083191-000-5

特27-899

英語文法作文三千題

宮井 安吉

川勝 鍊吉郎／著

M40

DAH-0677

英語文法作文三千題

国立国会図書館